
SBIラップ・シリーズ

交付運用報告書

第4期（決算日：2026年3月23日）

- （ラップ専用）SBI・米国株式
- （ラップ専用）SBI・先進国株式
- （ラップ専用）SBI・新興国株式
- （ラップ専用）SBI・米国債券
- （ラップ専用）SBI・米国ハイイールド債券
- （ラップ専用）SBI・新興国債券
- （ラップ専用）SBI・米国不動産
- （ラップ専用）SBI・ゴールド

 **SBI** Asset Management

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、
レポート等をご覧いただけます。

<https://www.sbiam.co.jp/>

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「SBIラップ・シリーズ（ラップ専用）SBI・米国株式」は、2026年3月23日に第4期決算を行いました。

当ファンドはSBI・V・全米株式インデックス・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資することにより、米国株の代表的インデックスの一つであるCRSP USトータル・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

第4期末（2026年3月23日）

基準価額	19,580円
純資産総額	82,320百万円
第4期	
騰落率	23.3%
分配金（税込み）合計	0円

(注1) 騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

(注3) 当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しています。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択⇒「目論見書・定期レポート等」を選択⇒「運用報告書（全体版）」より該当の決算期を選択ください。

SBIラップ・シリーズ （ラップ専用） SBI・米国株式

追加型投信／海外／株式／インデックス型

交付運用報告書

第4期（決算日：2026年3月23日）

作成対象期間（2025年3月25日～2026年3月23日）

 SBI Asset Management

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

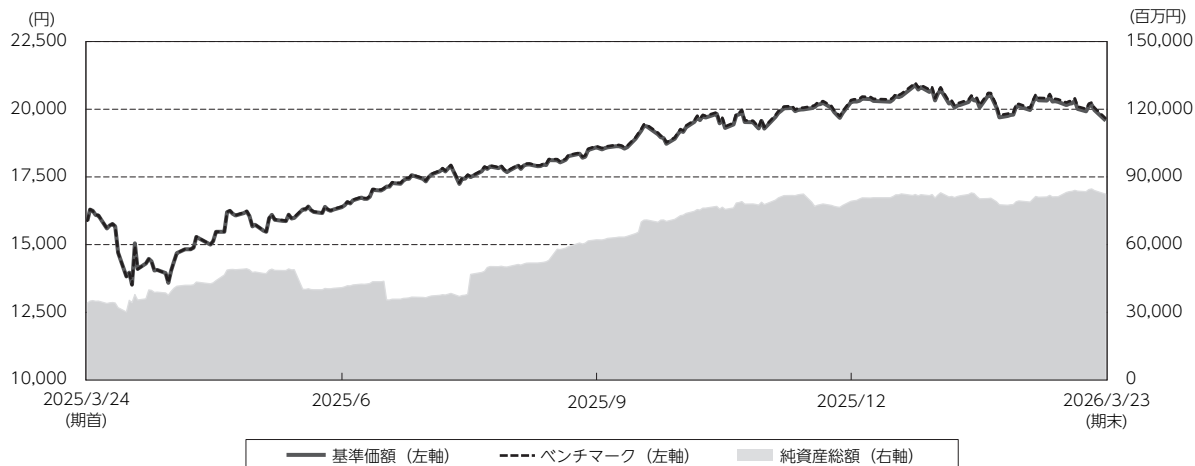
受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。
<https://www.sbiasset.com/jp/>

運用経過

基準価額等の推移

(2025年3月25日～2026年3月23日)



期 首：15,878円

期 末：19,580円 (既払分配金 (税込み)：0円)

騰落率： 23.3%

(注1) ベンチマークは、CRSP USトータル・マーケット・インデックス (配当込み) を委託会社にて円換算しています。詳細はP13をご参照ください。

(注2) ベンチマークは、期首 (2025年3月24日) の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。

(注3) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

- ・米消費者物価指数 (CPI) の伸び鈍化による米国金融政策の緩和への期待
- ・イラン問題の早期解決による原油の落ち着き
- ・人工知能 (AI) 関連の半導体需要増への期待によるハイテク株高
- ・対円で米ドルが上昇したこと

下落要因

- ・米連邦準備制度理事会 (FRB) のタカ派的姿勢
- ・イラン問題の長期化による原油の高止まり
- ・トランプ政権の関税政策による不確実性の高まり
- ・対円で米ドルが下落したこと

1万口当たりの費用明細

(2025年3月25日～2026年3月23日)

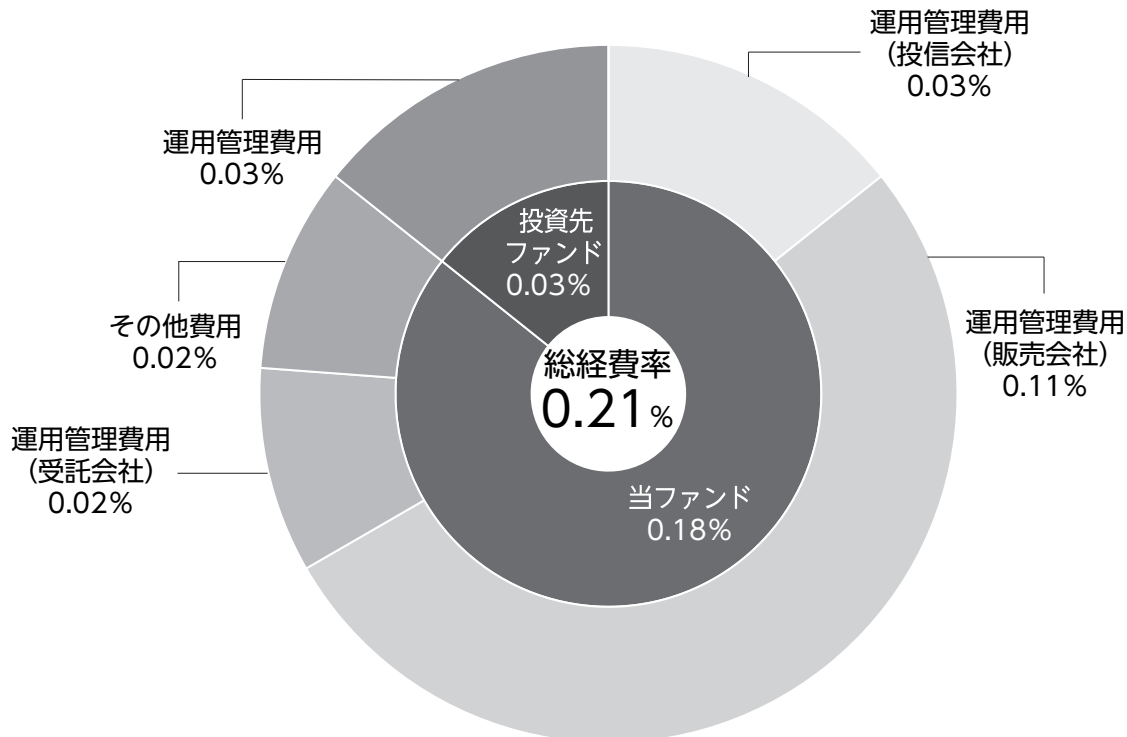
項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	29 円	0.160 %	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(6)	(0.033)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(20)	(0.110)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.018)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	—	—	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	—	—	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	3	0.018	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(3)	(0.016)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷)	(0)	(0.001)	開示資料等の作成・印刷費用等
合 計	32	0.178	
期中の平均基準価額は、18,164円です。			

- (注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。
(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入しています。
(注4) 売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.21%です。



総経費率 (①+②)	0.21%
①当ファンドの費用の比率	0.18%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.03%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドについては、運用会社等より入手した概算値を使用している場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2021年3月23日～2026年3月23日)



- (注1) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、実在するデータ(2022年3月23日から2026年3月23日)のみの記載となっています。
- (注2) ベンチマークは、CRSP USトータル・マーケット・インデックス(配当込み)を委託会社にて円換算しています。詳細はP13をご参照ください。
- (注3) ベンチマークは、設定日(2022年3月23日)の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。
- (注4) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

	2022年3月23日 設定日	2023年3月22日 決算日	2024年3月22日 決算日	2025年3月24日 決算日	2026年3月23日 決算日
基準価額 (円)	10,000	9,854	14,836	15,878	19,580
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	0	0
基準価額騰落率 (%)	—	△1.5	50.6	7.0	23.3
ベンチマーク騰落率 (%)	—	△1.1	51.3	7.4	23.8
純資産総額 (百万円)	100	2,170	11,448	33,989	82,320

- (注1) ベンチマークは、CRSP USトータル・マーケット・インデックス(配当込み)を委託会社にて円換算しています。詳細はP13をご参照ください。
- (注2) ベンチマークは、設定日(2022年3月23日)の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。
- (注3) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。
- (注4) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2023年3月22日の騰落率は設定当初との比較です。

投資環境

（2025年3月25日～2026年3月23日）

<米国株式市場>

当期、先進国株式市場は上昇しました。米国株式市場は、期初、関税政策を巡る不透明感が意識され、貿易摩擦再燃への警戒から下落して始まりました。その後は、関税リスクが後退する中で投資家心理が改善し、企業業績の底堅さを背景に株価は持ち直しました。春から夏にかけては、生成AIを中心とした設備投資の拡大や生産性向上への期待が高まり、米企業の増益基調が相場を下支えしました。秋以降はインフレ鈍化を受けて、将来的な金融緩和への期待が広がり、主要株価指数は高値圏で推移しました。一方、2026年に入ると株価水準の上昇を受けた高値警戒感や景気減速懸念が意識されるようになりました。3月には、イラン戦争の激化を背景とした原油高や地政学リスクの高まりにより、投資家のリスク回避姿勢が強まり、米国株式市場は調整局面を迎えました。

<為替>

当期、為替市場でドルは対円で上昇しました。期初、米国の関税政策を巡る不透明感が意識され、市場が不安定化する中で一時的に円買い圧力が強まりました。ただし、米国経済の底堅さと日米金利差の大きさを背景に、ドル安は限定的となりました。その後は、米国の高金利環境が維持されるとの見方や、FRBが慎重な金融政策運営を続ける姿勢を示したことから、ドルは再び底堅く推移しました。一方、日本銀行は金融政策の正常化に向けた姿勢を示したものの、利上げは緩やかにとどまり、円高圧力は限定的でした。夏以降は日米金利差を意識したドル買い・円売りの流れが続き、ドル円は高水準で推移しました。年末にかけては米国の将来的な利下げ観測が意識されたものの、ドルは相対的な高金利通貨としての魅力を保ちました。3月には、イラン戦争の激化による地政学リスクの高まりがみられましたが、米金利の高止まりとドルの相対的な安全資産性が評価され、ドル円相場はおおむねドル高水準を維持したまま期末を迎えました。

当ファンドのポートフォリオ

(2025年3月25日～2026年3月23日)

<当ファンド>

ベンチマークである「CRSP USトータル・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)」に連動する投資成果をめざし、主要投資対象であるSBI・V・全米株式インデックス・マザーファンド受益証券を高位に組み入れて運用を行いました。

<SBI・V・全米株式インデックス・マザーファンド>

ベンチマークである「CRSP USトータル・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)」に連動する投資成果をめざして運用を行ってまいりました。

また、ファンドの運用にあたっては、ザ・バンガード・グループ・インクが運用を行う「バンガード・トータル・ストック・マーケットETF」を主要投資対象として運用を行いました。

なお、当期の投資信託証券の組入比率に関しては、95%以上の組入比率を維持しました。期末の組入比率は99.5%となっております。

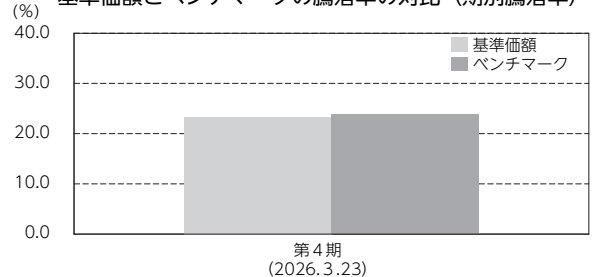
当ファンドのベンチマークとの差異

(2025年3月25日～2026年3月23日)

期中における基準価額は、23.3%の上昇となり、ベンチマークである「CRSP USトータル・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)」の騰落率である23.8%を概ね0.5%下回りました。

主な要因としては、投資先ETFとインデックスに対するトラッキングエラー (パフォーマンスの乖離)、ファンドとベンチマークにおいて適用される配当税率の差異、ファンドと組入ETFにおける信託報酬、運用コストおよびファンドのキャッシュポジションの差異などの要因があげられます。

基準価額とベンチマークの騰落率の対比 (期別騰落率)



(注) ベンチマークはCRSP USトータル・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース) です。詳細はP13をご参照ください。

分配金

(2025年3月25日～2026年3月23日)

当期の収益分配は、運用の効率性を勘案し見送ることといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第4期	
	2025年3月25日～ 2026年3月23日	
当期分配金 (対基準価額比率)	—	—%
当期の収益	—	
当期の収益以外	—	
翌期繰越分配対象額	9,579	

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針**<当ファンド>**

引き続き、ベンチマークである「CRSP USトータル・マーケット・インデックス(配当込み、円換算ベース)」に連動する投資成果をめざし、主要投資対象であるSBI・V・全米株式インデックス・マザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行う方針です。また、現金比率を極力抑え連動率を高めていく所存です。

<SBI・V・全米株式インデックス・マザーファンド>

引き続き、「バンガード・トータル・ストック・マーケットETF」を主要投資対象とし、ベンチマークである「CRSP USトータル・マーケット・インデックス(配当込み、円換算ベース)」に連動する投資成果をめざして運用を行います。

お知らせ

投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。
(変更適用日：2025年4月1日)

<当該約款変更につきまして>

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更され、書面交付またはデジタル交付いずれかを選択できるようになりました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全等、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。

今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供ができるよう整備してまいります。

これまででも月次報告書や運用報告書等の開示資料において「配当込み」ベンチマークを使用しておりましたが、目論見書においても、「配当込み指数」であることをより明確に示す目的から、当該ベンチマークの名称に「配当込み」の記載を追加する約款変更を行いました。

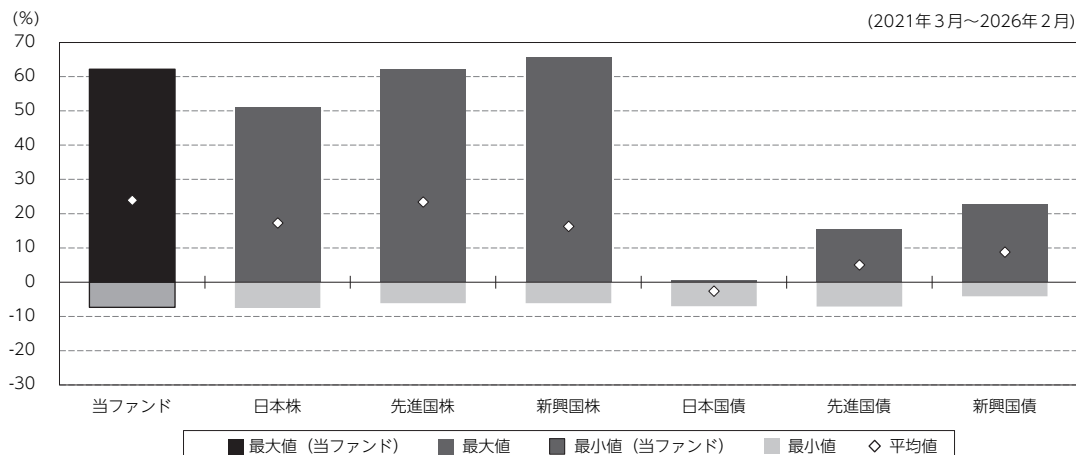
(変更適用日：2025年4月12日)

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信/海外/株式/インデックス型	
信託期間	無期限 (設定日：2022年3月23日)	
運用方針	SBI・V・全米株式インデックス・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF (上場投資信託証券) に投資することにより、CRSP USトータル・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース) に連動する投資成果をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド (ベビーファンド)	SBI・V・全米株式インデックス・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	ETF (上場投資信託証券) を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド (ベビーファンド)	SBI・V・全米株式インデックス・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF (上場投資信託証券) に投資することにより、CRSP USトータル・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース) に連動する投資成果をめざして運用を行います。
	マザーファンド	ETF (上場投資信託証券) への投資を通じて、CRSP USトータル・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース) に連動する投資成果をめざして運用を行います。
分配方針	年1回 (毎年3月22日。ただし、休業日の場合は翌営業日) 決算を行い、原則として以下の方針に基づいて収益の分配を行います。分配対象額の範囲は、繰越分も含めた経費控除後の配当等収益 (マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額 (以下「みなし配当等収益」といいます。)) を含みます。) および売買益 (評価益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額とします。) 等の全額とします。収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、委託者の判断により分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を定めず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	62.2	51.0	62.1	65.6	0.6	15.3	22.7
最小値	△ 7.3	△ 7.5	△ 6.1	△ 6.1	△ 7.0	△ 7.1	△ 4.1
平均値	23.9	17.3	23.4	16.3	△ 2.6	5.0	8.8

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2021年3月から2026年2月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 当ファンドについては、設定日以降のデータが5年に満たないため、2023年3月から2026年2月のデータを基に算出しています。なお、当ファンドに係る2023年2月までの年間騰落率についてはベンチマークを用いて算出しています。

(注4) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

《代表的な各資産クラスの指数》

日本株…Morningstar 日本株式指数

先進国株…Morningstar 先進国株式指数 (除く日本)

新興国株…Morningstar 新興国株式指数

日本国債…Morningstar 日本国債指数

先進国債…Morningstar グローバル国債指数 (除く日本)

新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債指数

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て税引前利子・配当込み指数です。

*各指数についての説明は、P13の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2026年3月23日現在)

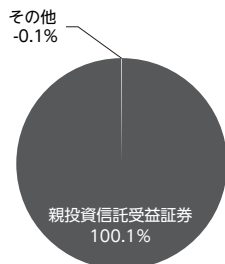
○組入上位ファンド

銘柄名	第4期末
SBI・V・全米株式インデックス・マザーファンド	100.1%
組入銘柄数	1銘柄

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

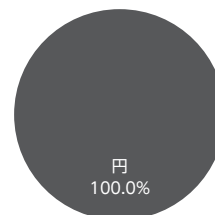
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

(注3) 国別配分の比率はマザーファンドの評価額に対する割合です。

純資産等

項目	第4期末
	2026年3月23日
純資産総額	82,320,576,835円
受益権総口数	42,043,858,127口
1万口当たり基準価額	19,580円

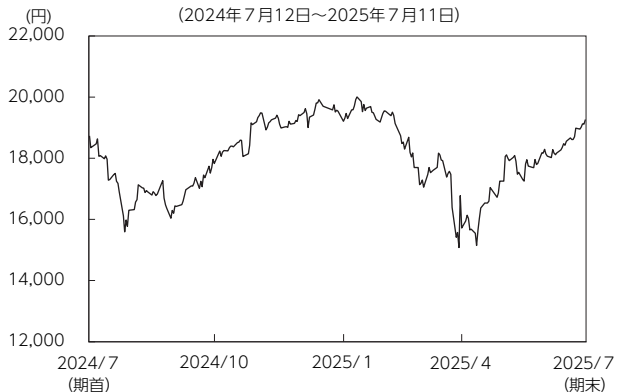
(注) 期中における追加設定元本額は44,608,826,393円、同解約元本額は23,971,286,280円です。

組入上位ファンドの概要

SBI・V・全米株式インデックス・マザーファンド

【基準価額の推移】

(2024年7月12日～2025年7月11日)



【1万口当たりの費用明細】

(2024年7月12日～2025年7月11日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用)	3円 (3)	0.015% (0.015)
合計	3	0.015
平均基準価額は、18,052円です。		

(注) 上記項目の概要につきましては、P3をご参照ください。

【組入上位ファンド】

(2025年7月11日現在)

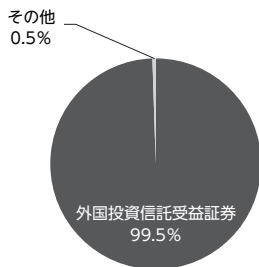
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	Vanguard Total Stock Market ETF	投資信託受益証券	米ドル	米国	99.5%
組入銘柄数				1銘柄	

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

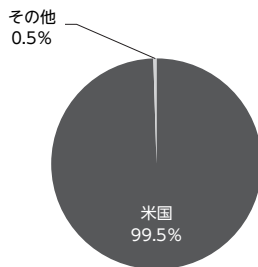
(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。

(注3) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

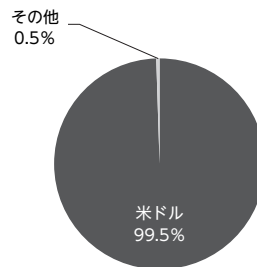
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 資産別・国別・通貨別のデータは2025年7月11日現在のものです。

(注2) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分は株式評価額に対する比率です。

(注4) 国別配分は発行国を表示しています。

＜当ファンドのベンチマークについて＞

ベンチマークは、CRSP USトータル・マーケット・インデックス (配当込み) を委託会社にて円換算しています。

OCRSP USトータル・マーケット・インデックス

CRSP USトータル・マーケット・インデックスとは、米国株式市場の大型株から小型株までを対象とし、投資可能銘柄のほぼ100%をカバーした時価総額加重平均型の株価指数です。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

〈各指数の概要〉

日本株：Morningstar 日本株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。

先進国株：Morningstar 先進国株式指数 (除く日本) は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。

新興国株：Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。

日本国債：Morningstar 日本国債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。

先進国債：Morningstar グローバル国債指数 (除く日本) は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。

新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

〈重要事項〉

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はモーニングスター・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社 (これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います) が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に本ファンドに投資することの当否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス (以下「Morningstarインデックス」と言います) の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与していません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び/又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害 (逸失利益を含む) について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「SBIラップ・シリーズ（ラップ専用）SBI・先進国株式」は、2026年3月23日に第4期決算を行いました。

当ファンドは（ラップ専用）SBI・先進国株式マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資することにより、先進国（米国を除く）株式市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

第4期末（2026年3月23日）

基準価額	18,804円
純資産総額	32,234百万円
第4期	
騰落率	29.9%
分配金（税込み）合計	0円

(注1) 騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

(注3) 当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しています。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択⇒「目論見書・定期レポート等」を選択⇒「運用報告書（全体版）」より該当の決算期を選択ください。

SBIラップ・シリーズ （ラップ専用） SBI・先進国株式

追加型投信／内外／株式

交付運用報告書

第4期（決算日：2026年3月23日）

作成対象期間（2025年3月25日～2026年3月23日）

 SBI Asset Management

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

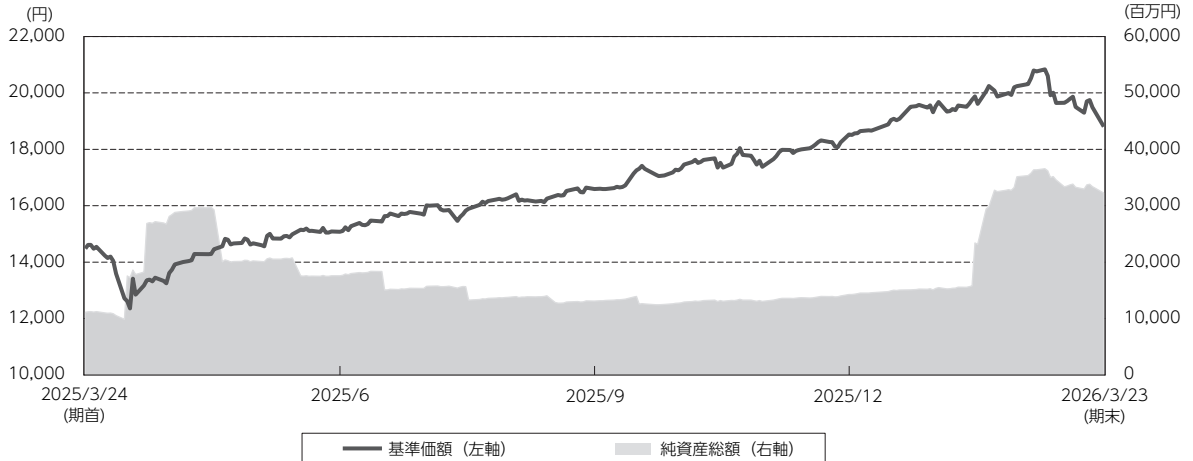
ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<https://www.sbiasset.com/jp/>

運用経過

基準価額等の推移

(2025年3月25日～2026年3月23日)



期首：14,479円

期末：18,804円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：29.9%

(注1) 当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資し、先進国（米国を除く）株式市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

(注2) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

- ・欧州インフレの沈静化と金融緩和期待の高まり
- ・日本株式市場の構造改革期待
- ・企業業績の底打ちと回復基調
- ・イラン問題の早期解決期待による原油価格上昇の頭打ち
- ・人工知能（AI）関連の半導体需要増への期待によるハイテク株高
- ・ドル高一服による外貨建て資産の相対優位

下落要因

- ・米国景気減速への懸念拡大
- ・地政学リスクの継続
- ・イラン問題の長期化による原油の高止まり
- ・トランプ政権の関税政策による不確実性の高まり
- ・日欧金融政策の先行き不透明感
- ・米ドル乱高下による為替変動リスクの高まり
- ・欧州テクノロジーセクターの伸び悩み

1 万口当たりの費用明細

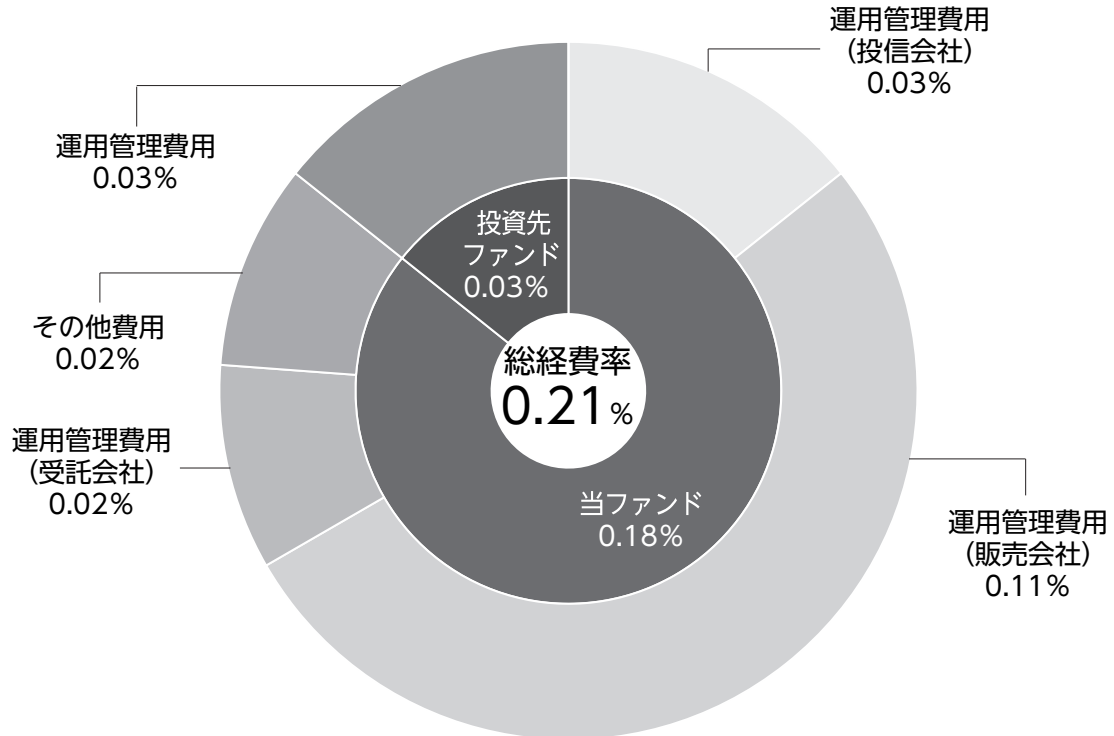
（2025年3月25日～2026年3月23日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	27 円	0.160 %	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	（ 6 ）	（0.033）	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	（ 18 ）	（0.110）	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	（ 3 ）	（0.018）	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	－	－	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	－	－	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	3	0.018	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	（ 2 ）	（0.012）	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	（ 1 ）	（0.004）	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 ）	（ 0 ）	（0.002）	開示資料等の作成・印刷費用等
合 計	30	0.178	
期中の平均基準価額は、16,813円です。			

- (注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。
(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入しています。
(注4) 売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)**○総経費率**

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.21%です。**



総経費率 (①+②)	0.21%
①当ファンドの費用の比率	0.18%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.03%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドについては、運用会社等より入手した概算値を使用している場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

（2021年3月23日～2026年3月23日）



- (注1) 当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資し、先進国（米国を除く）株式市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。
- (注2) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、実在するデータ（2022年3月23日から2026年3月23日）のみの記載となっています。
- (注3) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

	2022年3月23日 設定日	2023年3月22日 決算日	2024年3月22日 決算日	2025年3月24日 決算日	2026年3月23日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,234	13,744	14,479	18,804
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0
基準価額騰落率 (%)	—	2.3	34.3	5.3	29.9
純資産総額 (百万円)	100	2,910	6,476	11,101	32,234

- (注1) 当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資し、先進国（米国を除く）株式市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。
- (注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。
- (注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2023年3月22日の騰落率は設定当初との比較です。

投資環境

（2025年3月25日～2026年3月23日）

<先進国株式市場>

当ファンドが投資しているバンガード・FTSE・ディベロップド・マーケッツETF（VEA）は、米国を除く先進国株式全体への分散投資を目的としたETFです。2025年3月から2026年3月にかけての1年間では、欧州および日本株式市場の力強い回復を背景に、約40%程度の高いリターンを記録しました。2025年春先は米国の関税政策があったものの欧州ではインフレ鈍化が明確となり、金融緩和期待の高まりを受けて株式市場は持ち直しました。4月から6月にかけては企業決算の改善や政策期待を背景に、金融や工業セクターが相場を牽引し、VEAも着実に上昇しました。夏場には一時的に景気減速懸念が意識されたものの調整は限定的にとどまり、分散効果からファンド全体は安定した推移を示しました。9月以降は欧州経済指標の改善や投資家心理の回復を背景に上昇基調が再び強まり、10月から年末にかけては先進国株式全体が堅調に推移しました。その結果、2025年通年では約35%の大幅なプラスとなりました。2026年初には米国景気減速懸念などから変動性がやや高まったものの、欧州・日本株は底堅く推移し2月には年初来高値の更新が続きました。その後2月28日に勃発したイラン戦争により3月は調整しましたが、下旬にかけて再び上昇に転じました。

<為替>

当期、為替市場でドルは対円で上昇しました。期初、米国の関税政策を巡る不透明感が意識され、市場が不安定化する中で一時的に円買い圧力が強まりました。ただし、米国経済の底堅さと日米金利差の大きさを背景に、ドル安は限定的となりました。その後は、米国の高金利環境が維持されるとの見方や、米連邦準備制度理事会（FRB）が慎重な金融政策運営を続ける姿勢を示したことから、ドルは再び底堅く推移しました。一方、日本銀行は金融政策の正常化に向けた姿勢を示したものの、利上げは緩やかにとどまり、円高圧力は限定的でした。夏以降は日米金利差を意識したドル買い・円売りの流れが続き、ドル円は高水準で推移しました。年末にかけては米国の将来的な利下げ観測が意識されたものの、ドルは相対的な高金利通貨としての魅力を保ちました。3月には、イラン戦争の激化による地政学リスクの高まりがみられましたが、米金利の高止まりとドルの相対的な安全資産性が評価され、ドル円相場はおおむねドル高水準を維持したまま期末を迎えました。

当ファンドのポートフォリオ

(2025年3月25日～2026年3月23日)

<当ファンド>

主要投資対象である (ラップ専用) SBI・先進国株式マザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行いました。

<(ラップ専用) SBI・先進国株式マザーファンド>

主としてETF (上場投資信託証券) に投資し、先進国 (米国を除く) 株式市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行ってまいりました。

また、ファンドの運用にあたっては、ザ・バンガード・グループ・インクが運用を行う「バンガード・FTSE・ディベロップド・マーケットETF」を主要投資対象として運用を行いました。

なお、当期の投資信託証券の組入比率に関しては、95%以上の組入比率を維持しました。期末の組入比率は98.7%となっております。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2025年3月25日～2026年3月23日)

当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF (上場投資信託証券) に投資し、先進国 (米国を除く) 株式市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

分配金

(2025年3月25日～2026年3月23日)

当期の収益分配は、運用の効率性を勘案し見送ることといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第4期
	2025年3月25日～ 2026年3月23日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	8,803

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<当ファンド>

引き続き、マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF(上場投資信託証券)に投資し、先進国(米国を除く)株式市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行う方針です。

<(ラップ専用) SBI・先進国株式マザーファンド>

引き続き、「バンガード・FTSE・ディベロップド・マーケットETF」を主要投資対象とし、先進国(米国を除く)株式市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行います。

お知らせ

投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。
(変更適用日：2025年4月1日)

＜当該約款変更につきまして＞

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更され、書面交付またはデジタル交付いずれかを選択できるようになりました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全等、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。

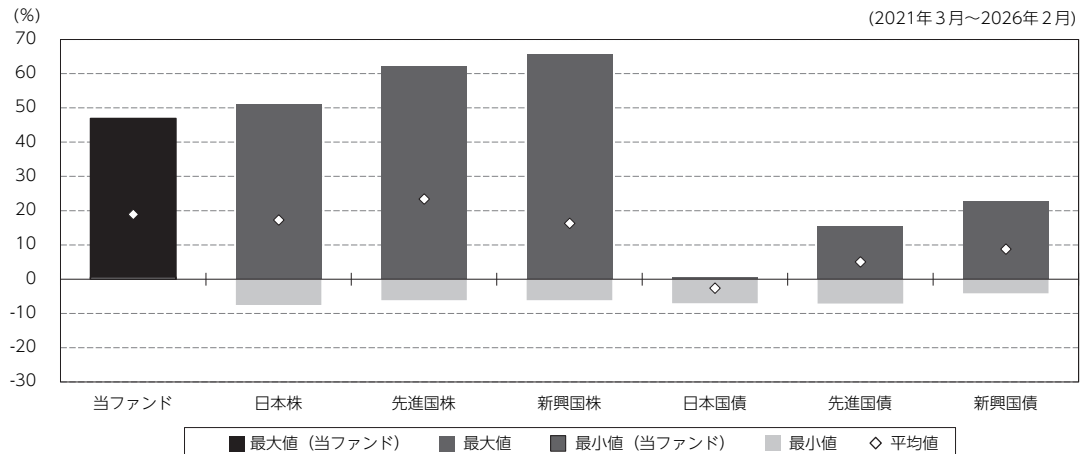
今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供ができるよう整備してまいります。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	無期限（設定日：2022年3月23日）	
運用方針	（ラップ専用）SBI・先進国株式マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資することにより、先進国（米国を除く）株式市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド（ベビーファンド）	（ラップ専用）SBI・先進国株式マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	ETF（上場投資信託証券）を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド（ベビーファンド）	（ラップ専用）SBI・先進国株式マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資することにより、先進国（米国を除く）株式市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行います。
	マザーファンド	ETF（上場投資信託証券）への投資を通じて、先進国（米国を除く）株式市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行います。
分配方針	年1回（毎年3月22日。ただし、休業日の場合は翌営業日）決算を行い、原則として以下の方針に基づいて収益の分配を行います。分配対象額の範囲は、繰越分も含めた経費控除後の配当等収益（マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額（以下「みなし配当等収益」といいます。）を含みます。）および売買益（評価益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額とします。）等の全額とします。収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、委託者の判断により分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を定めず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	47.0	51.0	62.1	65.6	0.6	15.3	22.7
最小値	0.6	△ 7.5	△ 6.1	△ 6.1	△ 7.0	△ 7.1	△ 4.1
平均値	18.9	17.3	23.4	16.3	△ 2.6	5.0	8.8

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2021年3月から2026年2月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、2023年3月から2026年2月のデータを基に算出しています。したがって、代表的な資産クラスとの比較対象期間が異なります。

(注4) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

《代表的な各資産クラスの指数》

日本株…Morningstar 日本株式指数

先進国株…Morningstar 先進国株式指数 (除く日本)

新興国株…Morningstar 新興国株式指数

日本国債…Morningstar 日本国債指数

先進国債…Morningstar グローバル国債指数 (除く日本)

新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債指数

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て税引前利子・配当込み指数です。

*各指数についての説明は、P13の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2026年3月23日現在)

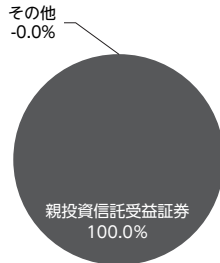
○組入上位ファンド

銘柄名	第4期末
(ラップ専用) SBI・先進国株式マザーファンド	100.0%
組入銘柄数	1銘柄

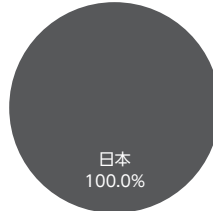
(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

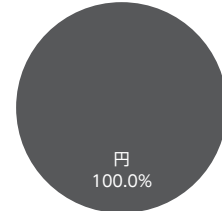
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

(注3) 国別配分の比率はマザーファンドの評価額に対する割合です。

純資産等

項目	第4期末
	2026年3月23日
純資産総額	32,234,628,343円
受益権総口数	17,142,499,798口
1万口当たり基準価額	18,804円

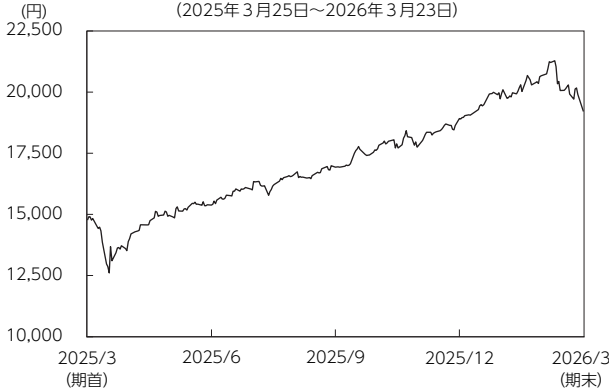
(注) 期中における追加設定元本額は27,835,921,881円、同解約元本額は18,360,975,482円です。

組入上位ファンドの概要

（ラップ専用）SBI・先進国株式マザーファンド

【基準価額の推移】

(2025年3月25日～2026年3月23日)



【1万円当たりの費用明細】

(2025年3月25日～2026年3月23日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用)	2円 (2)	0.012% (0.012)
合計	2	0.012
平均基準価額は、17,162円です。		

(注) 上記項目の概要につきましては、P3をご参照ください。

【組入上位ファンド】

(2026年3月23日現在)

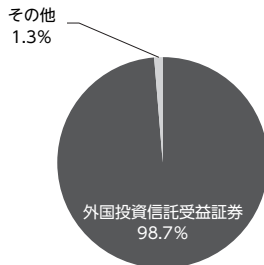
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率 %
1	Vanguard FTSE Developed Markets ETF	投資信託受益証券	米ドル	米国	98.7
組入銘柄数				1銘柄	

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

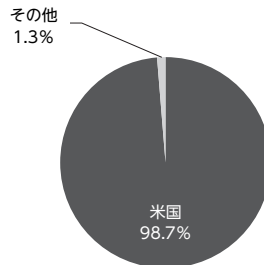
(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しています。

(注3) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

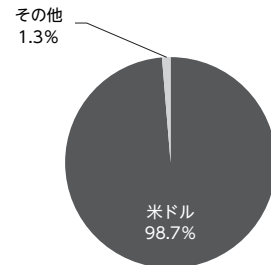
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 資産別・国別・通貨別のデータは2026年3月23日現在のものです。

(注2) 資産別・国別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分は発行国を表示しています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

<各指数の概要>

- 日本株：Morningstar 日本株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。
- 先進国株：Morningstar 先進国株式指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。
- 新興国株：Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。
- 日本国債：Morningstar 日本国債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。
- 先進国債：Morningstar グローバル国債指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。
- 新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

<重要事項>

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はモーニングスター・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に本ファンドに投資することの当否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstarインデックス」と言います）の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与しておりません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「SBIラップ・シリーズ（ラップ専用）SBI・新興国株式」は、2026年3月23日に第4期決算を行いました。

当ファンドは（ラップ専用）SBI・新興国株式マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資することにより、新興国株式市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

第4期末（2026年3月23日）

基準価額	16,480円
純資産総額	27,771百万円
第4期	
騰落率	24.0%
分配金（税込み）合計	0円

(注1) 騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

(注3) 当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しています。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択 ⇒ 「目論見書・定期レポート等」を選択 ⇒ 「運用報告書（全体版）」より該当の決算期を選択ください。

SBIラップ・シリーズ （ラップ専用） SBI・新興国株式

追加型投信／海外／株式

交付運用報告書

第4期（決算日：2026年3月23日）

作成対象期間（2025年3月25日～2026年3月23日）

 SBI Asset Management

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

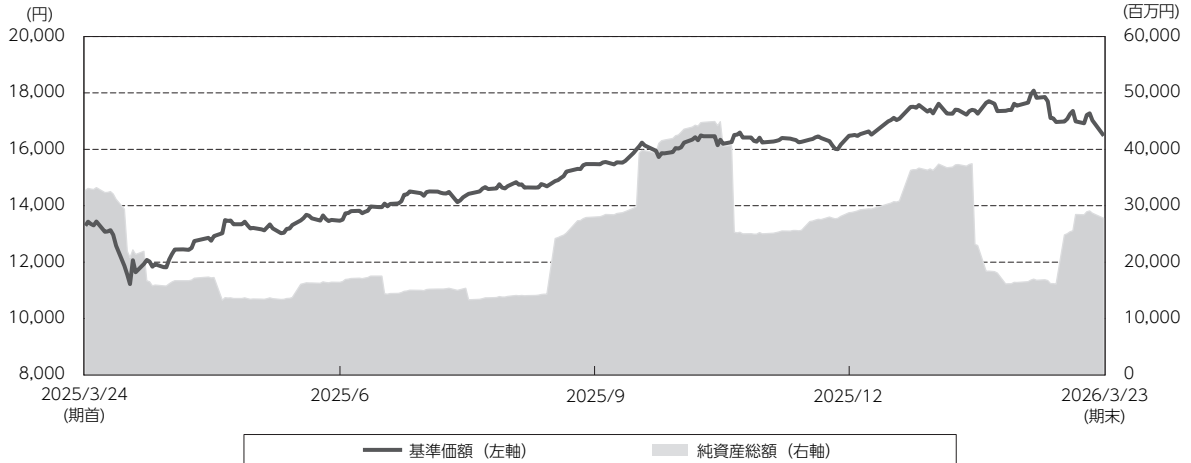
ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<https://www.sbiasset.com/jp/>

運用経過

基準価額等の推移

(2025年3月25日～2026年3月23日)



期 首：13,291円

期 末：16,480円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率： 24.0%

(注1) 当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資し、新興国株式市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

(注2) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

- ・米消費者物価指数（CPI）の伸び鈍化による米国金融政策の緩和への期待
- ・イラン問題の早期解決による原油の落ち着き
- ・人工知能（AI）関連の半導体需要増への期待によるハイテック株高
- ・レアアース等資源価格の上昇
- ・対円で米ドルが上昇したこと

下落要因

- ・米連邦準備制度理事会（FRB）のタカ派的姿勢
- ・イラン問題の長期化による原油の高止まり
- ・トランプ政権の関税政策による不確実性の高まり
- ・世界的な保護貿易志向の高まり
- ・対円で米ドルが下落したこと

1万口当たりの費用明細

（2025年3月25日～2026年3月23日）

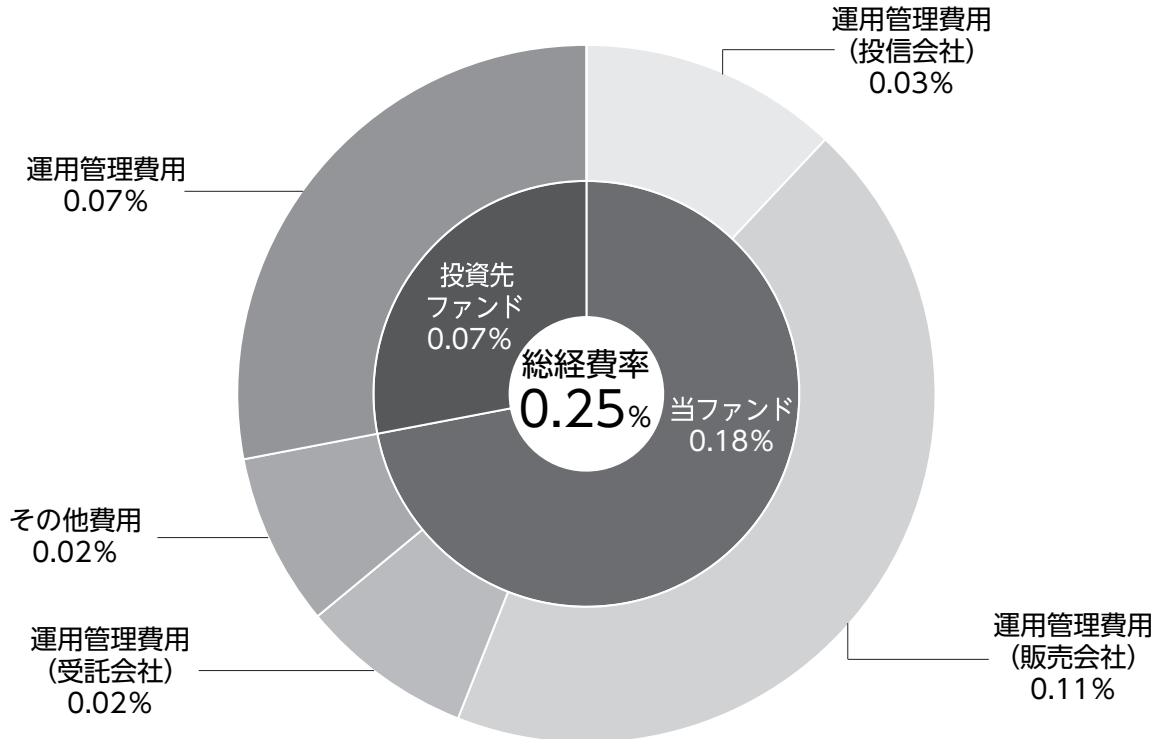
項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	24 円	0.160 %	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	（ 5 ）	（0.033）	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	（ 17 ）	（0.110）	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	（ 3 ）	（0.018）	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	－	－	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	－	－	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	3	0.018	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	（ 2 ）	（0.013）	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	（ 0 ）	（0.003）	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 ）	（ 0 ）	（0.002）	開示資料等の作成・印刷費用等
合 計	27	0.178	
期中の平均基準価額は、15,144円です。			

- (注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。
(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入しています。
(注4) 売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.25%です。



総経費率 (①+②)	0.25%
①当ファンドの費用の比率	0.18%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.07%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

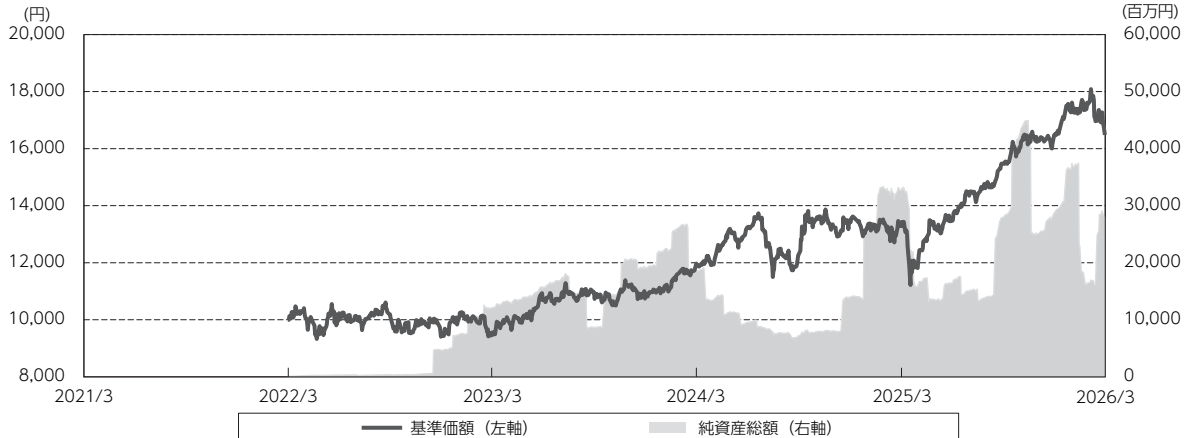
(注6) ①と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドについては、運用会社等より入手した概算値を使用している場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

（2021年3月23日～2026年3月23日）



- (注1) 当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資し、新興国株式市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。
- (注2) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、実在するデータ（2022年3月23日から2026年3月23日）のみの記載となっています。
- (注3) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

	2022年3月23日 設定日	2023年3月22日 決算日	2024年3月22日 決算日	2025年3月24日 決算日	2026年3月23日 決算日
基準価額 (円)	10,000	9,549	11,969	13,291	16,480
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0
基準価額騰落率 (%)	—	△4.5	25.3	11.0	24.0
純資産総額 (百万円)	100	12,087	18,669	32,709	27,771

- (注1) 当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資し、新興国株式市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。
- (注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。
- (注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2023年3月22日の騰落率は設定当初との比較です。

投資環境

（2025年3月25日～2026年3月23日）

<新興国株式市場>

当期、新興国株式市場は上昇しました。2025年中は、4月の米国等の通商政策の影響を受け、一旦下落する局面がありましたが、米国を中心としたグローバルな株式市場が、短期間で上昇基調を取り戻す中で、新興国市場では、米ドル安およびグローバル流動性の改善を背景に、資金が回帰する現象がみられました。加えて、AI関連投資の裾野拡大を背景に、半導体関連企業の比重が高い台湾・韓国市場が全体の上昇を牽引しました。また、資源価格の上昇はブラジルや中東など資源国の市況にプラスに作用しました。この間、中国市場は政策支援により底打ち感を示したものの、不動産問題や地政学的リスクが引き続き上値抑制要因となりました。2026年に入った後は、商品価格の上昇が継続し、エネルギー・素材セクターの優位が強まりました。また、地政学リスクにより世界的に物価動向の不透明感が高まる中でも、米国等の利下げ期待が根強いことが資本流入を支え、新興国市場は相対的に堅調に推移しました。期間を通してみると、新興国株式は割安な株価水準と成長ポテンシャルの高さを背景に投資妙味が再評価される局面となりました。

<為替>

当期、為替市場でドルは対円で上昇しました。期初、米国の関税政策を巡る不透明感が意識され、市場が不安定化する中で一時的に円買い圧力が強まりました。ただし、米国経済の底堅さと日米金利差の大きさを背景に、ドル安は限定的となりました。その後は、米国の高金利環境が維持されるとの見方や、FRBが慎重な金融政策運営を続ける姿勢を示したことから、ドルは再び底堅く推移しました。一方、日本銀行は金融政策の正常化に向けた姿勢を示したものの、利上げは緩やかにとどまり、円高圧力は限定的でした。夏以降は日米金利差を意識したドル買い・円売りの流れが続き、ドル円は高水準で推移しました。年末にかけては米国の将来的な利下げ観測が意識されたものの、ドルは相対的な高金利通貨としての魅力を保ちました。3月には、イラン戦争の激化による地政学リスクの高まりがみられましたが、米金利の高止まりとドルの相対的な安全資産性が評価され、ドル円相場はおおむねドル高水準を維持したまま期末を迎えました。

当ファンドのポートフォリオ

(2025年3月25日～2026年3月23日)

<当ファンド>

主要投資対象である (ラップ専用) SBI・新興国株式マザーファンド受益証券を高位に組み入れて運用を行いました。

<(ラップ専用) SBI・新興国株式マザーファンド>

主としてETF (上場投資信託証券) に投資し、新興国株式市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行ってまいりました。

また、ファンドの運用にあたっては、ザ・バンガード・グループ・インクが運用を行う「バンガード・FTSE・エマージング・マーケットETF」を主要投資対象として運用を行いました。

なお、当期の投資信託証券の組入比率に関しては、95%以上の組入比率を維持しました。期末の組入比率は98.0%となっております。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2025年3月25日～2026年3月23日)

当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF (上場投資信託証券) に投資し、新興国株式市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

分配金

（2025年3月25日～2026年3月23日）

当期の収益分配は、運用の効率性を勘案し見送ることといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第4期	
	2025年3月25日～ 2026年3月23日	
当期分配金	－	
(対基準価額比率)	－%	
当期の収益	－	
当期の収益以外	－	
翌期繰越分配対象額	6,480	

（注1）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注2）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針**<当ファンド>**

引き続き、マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資し、新興国株式市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行う方針です。

<（ラップ専用）SBI・新興国株式マザーファンド>

引き続き、「バンガード・FTSE・エマージング・マーケットETF」を主要投資対象とし、新興国株式市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行います。

お知らせ

投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。
(変更適用日：2025年4月1日)

＜当該約款変更につきまして＞

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更され、書面交付またはデジタル交付いずれかを選択できるようになりました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全等、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。

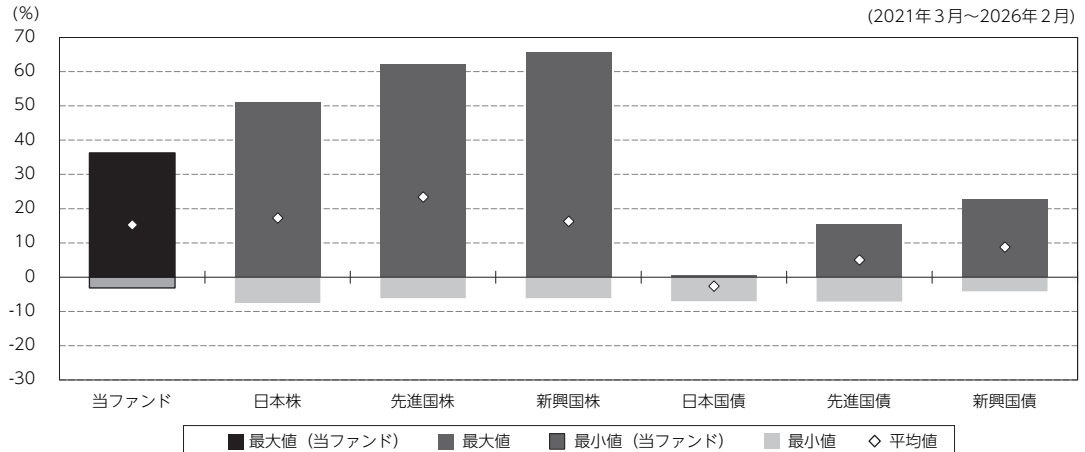
今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供ができるよう整備してまいります。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	無期限（設定日：2022年3月23日）	
運用方針	（ラップ専用）SBI・新興国株式マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資することにより、新興国株式市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド（ベビーファンド）	（ラップ専用）SBI・新興国株式マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	ETF（上場投資信託証券）を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド（ベビーファンド）	（ラップ専用）SBI・新興国株式マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資することにより、新興国株式市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行います。
	マザーファンド	ETF（上場投資信託証券）への投資を通じて、新興国株式市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行います。
分配方針	年1回（毎年3月22日。ただし、休業日の場合は翌営業日）決算を行い、原則として以下の方針に基づいて収益の分配を行います。分配対象額の範囲は、繰越分も含めた経費控除後の配当等収益（マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額（以下「みなし配当等収益」といいます。）を含みます。）および売買益（評価益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額とします。）等の全額とします。収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、委託者の判断により分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を定めず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	36.3	51.0	62.1	65.6	0.6	15.3	22.7
最小値	△ 3.1	△ 7.5	△ 6.1	△ 6.1	△ 7.0	△ 7.1	△ 4.1
平均値	15.3	17.3	23.4	16.3	△ 2.6	5.0	8.8

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2021年3月から2026年2月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、2023年3月から2026年2月のデータを基に算出しています。したがって、代表的な資産クラスとの比較対象期間が異なります。

(注4) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

《代表的な各資産クラスの指数》

日本株…Morningstar 日本株式指数

先進国株…Morningstar 先進国株式指数 (除く日本)

新興国株…Morningstar 新興国株式指数

日本国債…Morningstar 日本国債指数

先進国債…Morningstar グローバル国債指数 (除く日本)

新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債指数

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て税引前利子・配当込み指数です。

*各指数についての説明は、P13の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2026年3月23日現在)

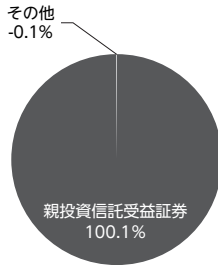
○組入上位ファンド

銘柄名	第4期末
(ラップ専用) SBI・新興国株式マザーファンド	100.1%
組入銘柄数	1銘柄

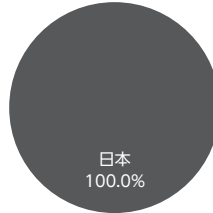
(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

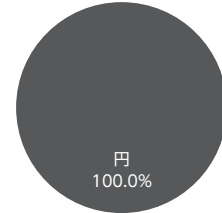
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

(注3) 国別配分の比率はマザーファンドの評価額に対する割合です。

純資産等

項目	第4期末
	2026年3月23日
純資産総額	27,771,922,073円
受益権総口数	16,851,805,797口
1万口当たり基準価額	16,480円

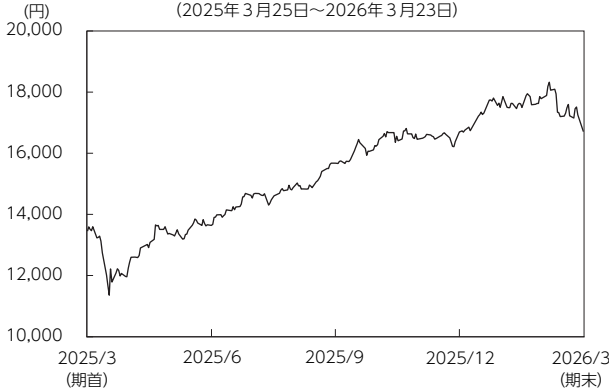
(注) 期中における追加設定元本額は38,911,917,898円、同解約元本額は46,670,650,352円です。

組入上位ファンドの概要

（ラップ専用）SBI・新興国株式マザーファンド

【基準価額の推移】

(2025年3月25日～2026年3月23日)



【1万円当たりの費用明細】

(2025年3月25日～2026年3月23日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用)	2円 (2)	0.013% (0.013)
合計	2	0.013
平均基準価額は、15,340円です。		

(注) 上記項目の概要につきましては、P3をご参照ください。

【組入上位ファンド】

(2026年3月23日現在)

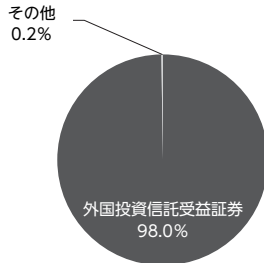
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率 %
1	Vanguard FTSE Emerging Markets ETF	投資信託受益証券	米ドル	米国	98.0
組入銘柄数				1銘柄	

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

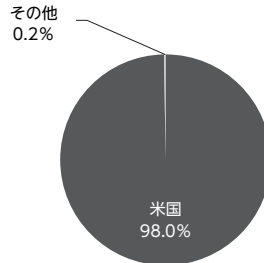
(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しています。

(注3) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

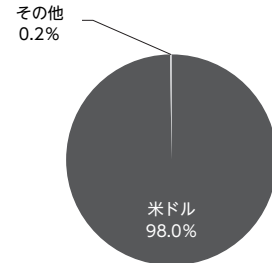
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 資産別・国別・通貨別のデータは2026年3月23日現在のものです。

(注2) 資産別・国別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分は発行国を表示しています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

<各指数の概要>

- 日本株：Morningstar 日本株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。
- 先進国株：Morningstar 先進国株式指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。
- 新興国株：Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。
- 日本国債：Morningstar 日本国債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。
- 先進国債：Morningstar グローバル国債指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。
- 新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

<重要事項>

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はモーニングスター・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に本ファンドに投資することの当否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstarインデックス」と言います）の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成又は算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与していません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「SBIラップ・シリーズ（ラップ専用）SBI・米国債券」は、2026年3月23日に第4期決算を行いました。

当ファンドは（ラップ専用）SBI・米国債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資することにより、米国債券市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

第4期末（2026年3月23日）

基準価額	13,499円
純資産総額	19,996百万円
第4期	
騰落率	10.1%
分配金（税込み）合計	0円

(注1) 騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

(注3) 当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しています。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択⇒「目論見書・定期レポート等」を選択⇒「運用報告書（全体版）」より該当の決算期を選択ください。

SBIラップ・シリーズ （ラップ専用） SBI・米国債券

追加型投信／海外／債券

交付運用報告書

第4期（決算日：2026年3月23日）

作成対象期間（2025年3月25日～2026年3月23日）

 SBI Asset Management

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

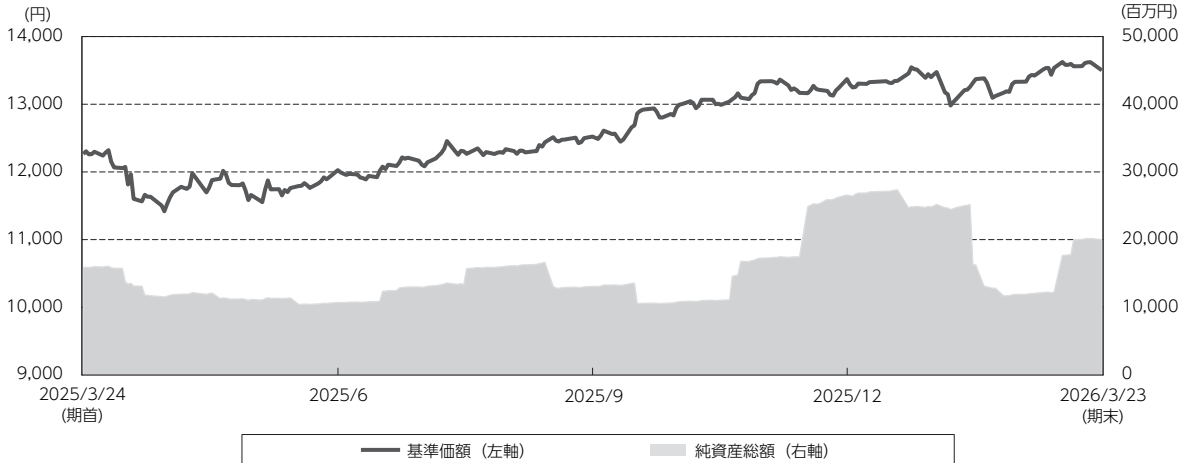
ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<https://www.sbiasset.com/jp/>

運用経過

基準価額等の推移

(2025年3月25日～2026年3月23日)



期首：12,264円

期末：13,499円 (既払分配金 (税込み) : 0円)

騰落率： 10.1%

(注1) 当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF (上場投資信託証券) に投資し、米国債券市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

(注2) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

- ・ 景気減速懸念による予防的利下げ期待
- ・ 安全資産としての米国債需要
- ・ 海外投資家の需要による下支え

下落要因

- ・ 米連邦準備制度理事会 (FRB) による「高金利長期化」姿勢と利下げ期待の後退
- ・ インフレの粘着性と中東情勢悪化による原油価格の急騰
- ・ タームプレミアムの拡大
- ・ 米国経済の底堅さ

1万口当たりの費用明細

(2025年3月25日～2026年3月23日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	20 円	0.160 %	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(4)	(0.033)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(14)	(0.110)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.018)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	—	—	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	—	—	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	3	0.021	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.014)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷)	(0)	(0.003)	開示資料等の作成・印刷費用等
合 計	23	0.181	
期中の平均基準価額は、12,594円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入しています。

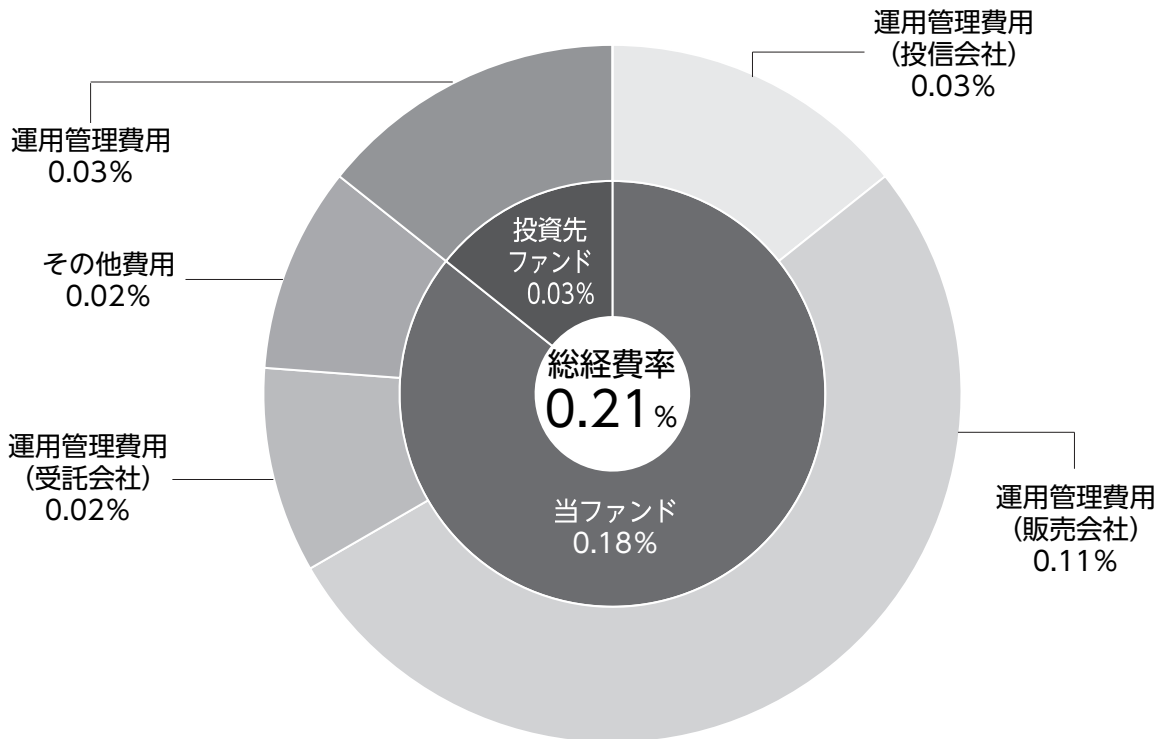
(注4) 売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.21%です。



総経費率 (①+②)	0.21%
①当ファンドの費用の比率	0.18%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.03%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

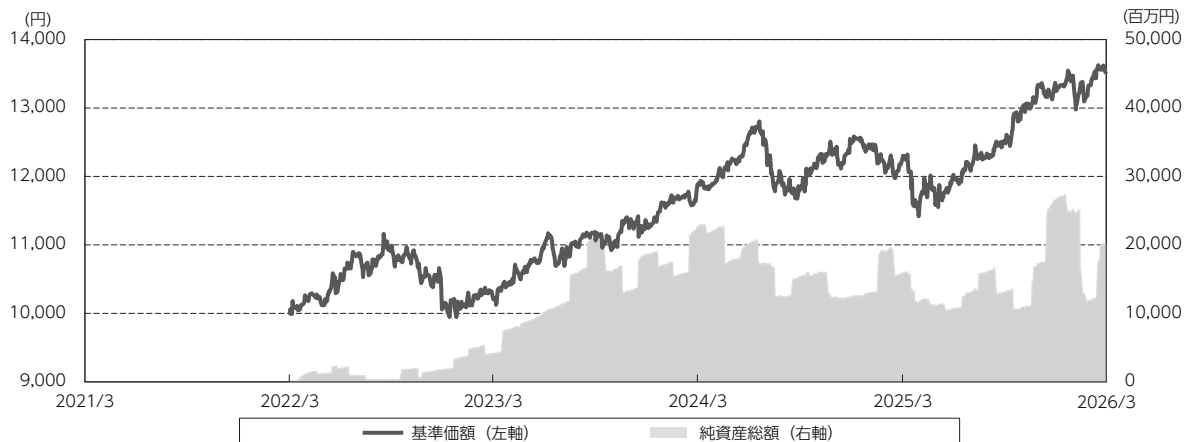
(注6) ①と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドについては、運用会社等より入手した概算値を使用している場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2021年3月23日～2026年3月23日)



- (注1) 当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF (上場投資信託証券) に投資し、米国債券市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。
- (注2) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、実在するデータ (2022年3月23日から2026年3月23日) のみの記載となっています。
- (注3) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

	2022年3月23日 設定日	2023年3月22日 決算日	2024年3月22日 決算日	2025年3月24日 決算日	2026年3月23日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,240	11,878	12,264	13,499
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0
基準価額騰落率 (%)	—	2.4	16.0	3.2	10.1
純資産総額 (百万円)	100	4,098	22,644	15,840	19,996

- (注1) 当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF (上場投資信託証券) に投資し、米国債券市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。
- (注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。
- (注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2023年3月22日の騰落率は設定当初との比較です。

投資環境

(2025年3月25日～2026年3月23日)

<米国債券市場>

2025年春の時点では利下げ期待が強かったものの、インフレの粘着性と地政学リスク（特に中東情勢）を背景に2025年の終わりから2026年2月にかけて金利は再び上昇圧力を受け一時10年国債利回りは4.4%を上回る水準まで売られました。結果として、短期金利は高止まり、長期金利はじり高となり、イールドカーブは一時的なスティープ化後、再びフラット化する局面が見られました。金融政策面では2025年12月の米連邦公開市場委員会（FOMC）でFRBは政策金利を25bp引き下げましたが、その後の声明では「追加利下げの時期と回数はデータ次第」とされ、市場の緩和期待は限定的となりました。その後政策金利は据え置かれており、FRBはインフレ再燃リスクを強く意識していることがはっきりしました。2月の終わりからは米国によるイラン攻撃が開始され、原油高を引き起こしており、インフレ再燃の懸念から金利は上昇を続け3月の取引を終了しております。今後につきましては、イラン攻撃の影響が懸念される一方で、早期解決の声もきこえており、今後の金融政策はイラン攻撃の終結次第となることが予想されます。

<為替>

この期間のドル円相場は、円安基調を維持しつつ、段階的に円安が進行しました。水準としては、150円前半からほぼ一貫して円安が続き一時160円を突破しました。結果として160円に近い円安水準で終わっております。この円安基調の背景は、日本銀行の慎重すぎる金利の正常化と米国における利下げ期待の後退により日米金利差が高止まっていることがあげられます。また、円の構造的な弱さも円安基調が続いている要因となっています。さらに2月の終わりから始まった米国によるイラン攻撃により、原油高を招いておりインフレを懸念した動きから、米国の金利が上昇していることも円安が続いている原因と考えられます。

当ファンドのポートフォリオ

(2025年3月25日～2026年3月23日)

<当ファンド>

主要投資対象である (ラップ専用) SBI・米国債券マザーファンド受益証券を高位に組み入れて運用を行いました。

< (ラップ専用) SBI・米国債券マザーファンド >

主としてETF (上場投資信託証券) に投資し、米国債券市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行ってまいりました。

また、ファンドの運用にあたっては、ザ・バンガード・グループ・インクが運用を行う「バンガード・トータル・ボンド・マーケットETF」を主要投資対象として運用を行いました。

なお、当期の投資信託証券の組入比率に関しては、95%以上の組入比率を維持しました。期末の組入比率は97.8%となっております。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2025年3月25日～2026年3月23日)

当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF (上場投資信託証券) に投資し、米国債券市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

分配金

(2025年3月25日～2026年3月23日)

当期の収益分配は、運用の効率性を勘案し見送ることいたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第4期
	2025年3月25日～ 2026年3月23日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	3,498

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針**<当ファンド>**

引き続き、マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF(上場投資信託証券)に投資し、米国債券市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行う方針です。

<(ラップ専用) SBI・米国債券マザーファンド>

引き続き、「バンガード・トータル・ボンド・マーケットETF」を主要投資対象とし、米国債券市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行います。

お知らせ

投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。
(変更適用日：2025年4月1日)

＜当該約款変更につきまして＞

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更され、書面交付またはデジタル交付いずれかを選択できるようになりました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全等、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。

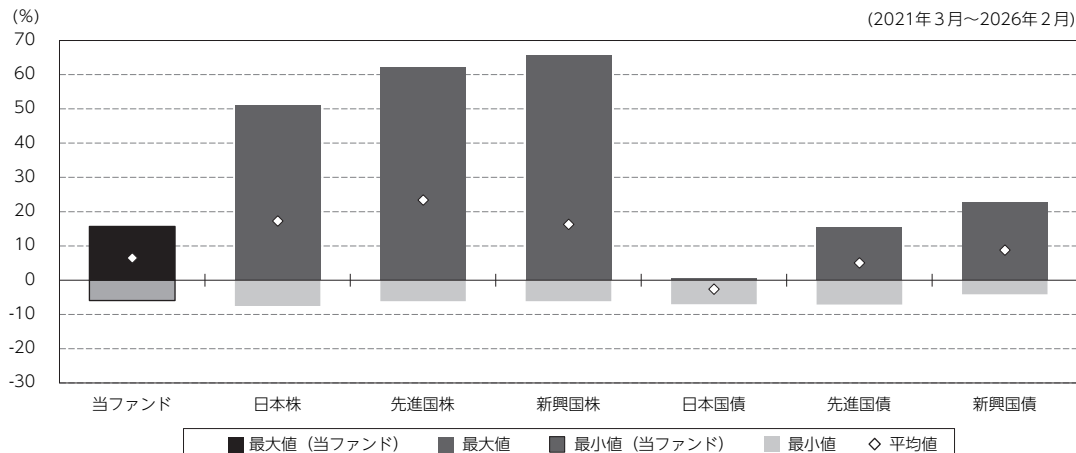
今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供ができるよう整備してまいります。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（設定日：2022年3月23日）	
運用方針	（ラップ専用）SBI・米国債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資することにより、米国債券市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド （ベビーファンド）	（ラップ専用）SBI・米国債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	ETF（上場投資信託証券）を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド （ベビーファンド）	（ラップ専用）SBI・米国債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資することにより、米国債券市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行います。
	マザーファンド	ETF（上場投資信託証券）への投資を通じて、米国債券市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行います。
分配方針	年1回（毎年3月22日。ただし、休業日の場合は翌営業日）決算を行い、原則として以下の方針に基づいて収益の分配を行います。分配対象額の範囲は、繰越分も含めた経費控除後の配当等収益（マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額（以下「みなし配当等収益」といいます。）を含みます。）および売買益（評価益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額とします。）等の全額とします。収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、委託者の判断により分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を定めず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	15.7	51.0	62.1	65.6	0.6	15.3	22.7
最小値	△ 5.9	△ 7.5	△ 6.1	△ 6.1	△ 7.0	△ 7.1	△ 4.1
平均値	6.5	17.3	23.4	16.3	△ 2.6	5.0	8.8

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2021年3月から2026年2月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、2023年3月から2026年2月のデータを基に算出しています。したがって、代表的な資産クラスとの比較対象期間が異なります。

(注4) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

《代表的な各資産クラスの指数》

日本株…Morningstar 日本株式指数

先進国株…Morningstar 先進国株式指数 (除く日本)

新興国株…Morningstar 新興国株式指数

日本国債…Morningstar 日本国債指数

先進国債…Morningstar グローバル国債指数 (除く日本)

新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債指数

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て税引前利子・配当込み指数です。

*各指数についての説明は、P13の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2026年3月23日現在)

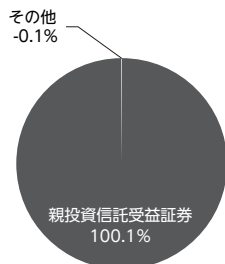
○組入上位ファンド

銘柄名	第4期末
(ラップ専用) SBI・米国債券マザーファンド	100.1%
組入銘柄数	1銘柄

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

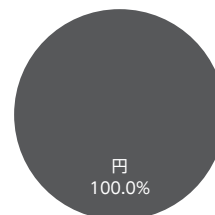
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

(注3) 国別配分の比率はマザーファンドの評価額に対する割合です。

純資産等

項目	第4期末
	2026年3月23日
純資産総額	19,996,183,680円
受益権総口数	14,813,206,022口
1万口当たり基準価額	13,499円

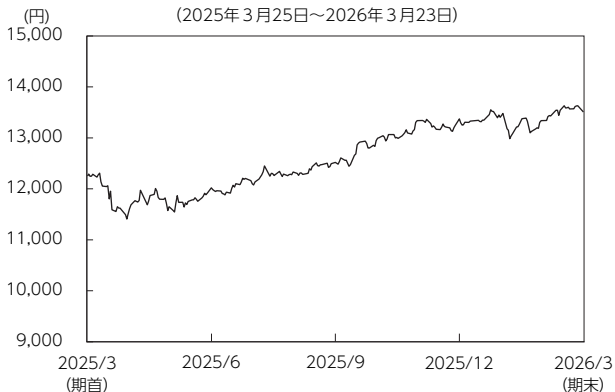
(注) 期中における追加設定元本額は30,552,630,937円、同解約元本額は28,655,745,307円です。

組入上位ファンドの概要

(ラップ専用) SBI・米国債券マザーファンド

【基準価額の推移】

(2025年3月25日～2026年3月23日)



【1万円当たりの費用明細】

(2025年3月25日～2026年3月23日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用)	2円 (2)	0.014% (0.014)
合計	2	0.014
平均基準価額は、12,591円です。		

(注) 上記項目の概要につきましては、P3をご参照ください。

【組入上位ファンド】

(2026年3月23日現在)

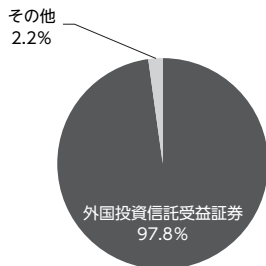
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	Vanguard Total Bond Market ETF	投資信託受益証券	米ドル	米国	97.8%
組入銘柄数				1銘柄	

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

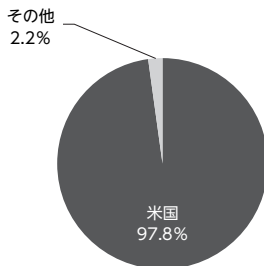
(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。

(注3) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

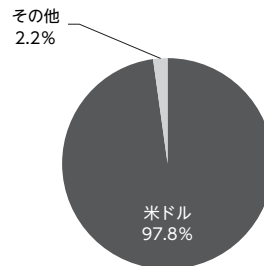
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 資産別・国別・通貨別のデータは2026年3月23日現在のものです。

(注2) 資産別・国別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分は発行国を表示しています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

<各指数の概要>

- 日本株：Morningstar 日本株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。
- 先進国株：Morningstar 先進国株式指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。
- 新興国株：Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。
- 日本国債：Morningstar 日本国債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。
- 先進国債：Morningstar グローバル国債指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。
- 新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

<重要事項>

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はモーニングスター・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に本ファンドに投資することの当否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstarインデックス」と言います）の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成又は算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与していません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「SBIラップ・シリーズ（ラップ専用）SBI・米国ハイイールド債券」は、2026年3月23日に第4期決算を行いました。

当ファンドは（ラップ専用）SBI・米国ハイイールド債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資することにより、米国ハイイールド債券市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

第4期末（2026年3月23日）

基準価額	15,494円
純資産総額	34,071百万円
第4期	
騰落率	11.6%
分配金（税込み）合計	0円

(注1) 騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

(注3) 当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しています。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択 ⇒ 「目論見書・定期レポート等」を選択 ⇒ 「運用報告書（全体版）」より該当の決算期を選択ください。

SBIラップ・シリーズ （ラップ専用） SBI・米国ハイイールド債券

追加型投信／海外／債券

交付運用報告書

第4期（決算日：2026年3月23日）

作成対象期間（2025年3月25日～2026年3月23日）

 SBI Asset Management

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

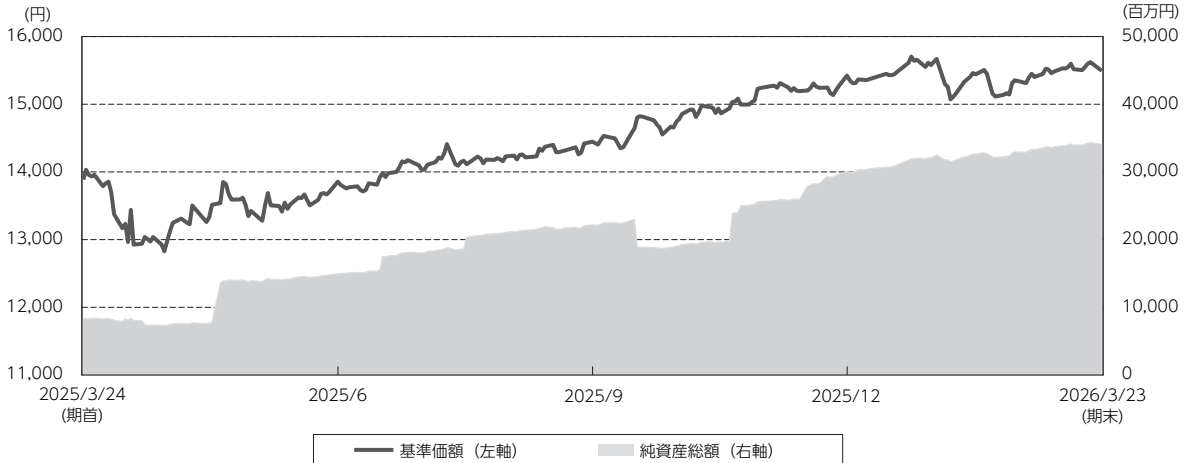
ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<https://www.sbiasset.com/jp/>

運用経過

基準価額等の推移

(2025年3月25日～2026年3月23日)



(注1) 当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF (上場投資信託証券) に投資し、米国ハイイールド債券市場の動向きと同等の投資成果をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

(注2) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

- ・クーポン収入 (高利回り) が安定的に積み上がる点が最大の押し上げ要因となります。利回りが7%前後と高水準にあったため、インカム収益が基準価額に寄与しました。
- ・信用スプレッドの縮小 (社債利回りと国債利回りの差の低下) により、債券価格が上昇しました。
- ・デフォルト率が低位に抑えられたことで信用不安が後退し、リスク資産への資金流入が続いたことも支援材料となりました。
- ・為替面では、円安 (ドル高) が進行した局面では、外貨建て資産の円換算価値が上昇し、基準価額の押し上げ要因となります。

下落要因

- ・米国金利の上昇は債券価格の下落要因となり、特に長めのデュレーションを持つ銘柄で影響が出ます。
- ・スプレッドが既に低水準にあったため、リスクオフ局面ではスプレッド拡大による価格下落が発生しやすくなります。
- ・2026年にかけては、金融引き締め の累積効果により一部企業の信用力が低下し、デフォルト懸念の高まりや銘柄間格差の拡大がマイナス要因となります。
- ・株式市場の調整や地政学リスクの高まりに伴うリスク回避姿勢の強まりも価格下押し圧力となります。
- ・為替面では、円高 (ドル安) が進行した場合、外貨建て資産の円換算価値が目減りし、基準価額 の下落要因となります。

1万口当たりの費用明細

(2025年3月25日～2026年3月23日)

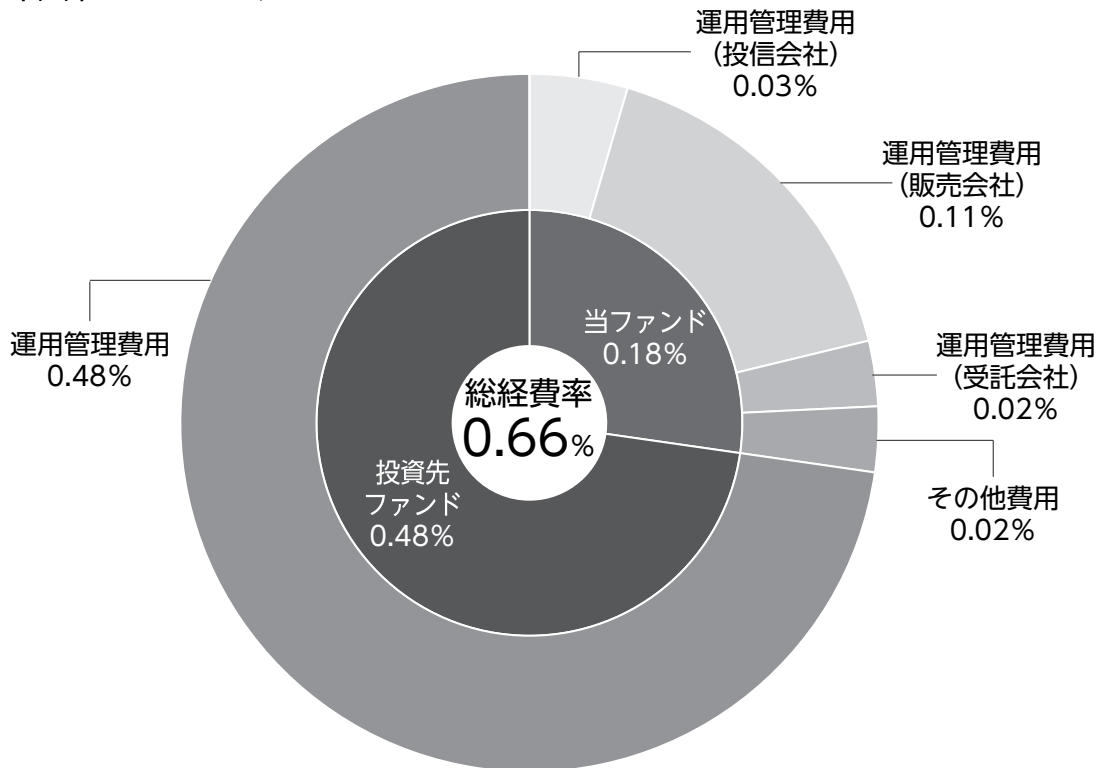
項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	23 円	0.160 %	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(5)	(0.033)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(16)	(0.110)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.018)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	—	—	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	—	—	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	3	0.018	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.012)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷)	(0)	(0.002)	開示資料等の作成・印刷費用等
合 計	26	0.178	
期中の平均基準価額は、14,460円です。			

- (注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。
(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入しています。
(注4) 売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.66%です。



総経費率 (①+②)	0.66%
①当ファンドの費用の比率	0.18%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.48%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドについては、運用会社等より入手した概算値を使用している場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2021年3月23日～2026年3月23日)



- (注1) 当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF (上場投資信託証券) に投資し、米国ハイイールド債券市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。
- (注2) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、実在するデータ (2022年3月23日から2026年3月23日) のみの記載となっています。
- (注3) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

	2022年3月23日 設定日	2023年3月22日 決算日	2024年3月22日 決算日	2025年3月24日 決算日	2026年3月23日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,354	13,052	13,885	15,494
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0
基準価額騰落率 (%)	—	3.5	26.1	6.4	11.6
純資産総額 (百万円)	100	939	6,738	8,248	34,071

- (注1) 当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF (上場投資信託証券) に投資し、米国ハイイールド債券市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。
- (注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。
- (注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2023年3月22日の騰落率は設定当初との比較です。

投資環境

(2025年3月25日～2026年3月23日)

<米国ハイイールド債券市場>

2025年3月25日から2026年3月23日にかけての米国ハイイールド債券市場は、総じて「良好だが過熱感と選別強化が進む局面」でありました。2025年は米国経済の底堅い成長と高クーポン環境を背景に資金流入が続き、スプレッドは歴史的に低水準まで縮小しました。実際、2025年末にかけては低デフォルト率（約1～2%台）と健全な企業ファンダメンタルズが市場を支え、利回りは7%前後と魅力的なインカム源となりました。

2026年に入ると、こうした良好な環境は概ね維持されましたが、いくつかの変化が見られます。まずスプレッドは約300bp前後と依然タイトなレンジにとどまり、キャリー収益中心の安定的リターンが期待される一方、追加的なスプレッド縮小余地は限定的となりました。また、金融引き締めの累積効果や一部企業の資金調達負担増により、デフォルト率は今後やや上昇（3～4%程度）する見通しが示され、信用リスクの分散（銘柄間格差拡大）が意識され始めました。

同時に、投資家需要は引き続き強く、発行市場では競争が激化し、需給面はタイトに推移しました。ただし、地政学リスクや金利変動に伴う短期的なボラティリティは断続的に発生しています。よって、この期間は「高利回り・低スプレッド・低デフォルトから、ややリスク顕在化と選別重視へ移行する過渡期」と評価できます。

<為替>

当期、為替市場でドルは対円で上昇しました。期初、米国の関税政策を巡る不透明感が意識され、市場が不安定化する中で一時的に円買い圧力が強まりました。ただし、米国経済の底堅さと日米金利差の大きさを背景に、ドル安は限定的となりました。その後は、米国の高金利環境が維持されるとの見方や、米連邦準備制度理事会（FRB）が慎重な金融政策運営を続ける姿勢を示したことから、ドルは再び底堅く推移しました。一方、日本銀行は金融政策の正常化に向けた姿勢を示したものの、利上げは緩やかにとどまり、円高圧力は限定的でした。夏以降は日米金利差を意識したドル買い・円売りの流れが続き、ドル円は高水準で推移しました。年末にかけては米国の将来的な利下げ観測が意識されたものの、ドルは相対的な高金利通貨としての魅力を保ちました。3月には、イラン戦争の激化による地政学リスクの高まりがみられましたが、米金利の高止まりとドルの相対的な安全資産性が評価され、ドル円相場はおおむねドル高水準を維持したまま期末を迎えました。

当ファンドのポートフォリオ

(2025年3月25日～2026年3月23日)

<当ファンド>

主要投資対象である(ラップ専用)SBI・米国ハイイールド債券マザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行いました。

<(ラップ専用)SBI・米国ハイイールド債券マザーファンド>

主としてETF(上場投資信託証券)に投資し、米国ハイイールド債券市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行ってまいりました。

また、ファンドの運用にあたっては、ブラックロック・ファンド・アドバイザーズが運用を行う「iシェアーズ iBoxx 米ドル建てハイイールド社債ETF」を主要投資対象として運用を行いました。

なお、当期の投資信託証券の組入比率に関しては、95%以上の組入比率を維持しました。期末の組入比率は97.8%となっております。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2025年3月25日～2026年3月23日)

当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF(上場投資信託証券)に投資し、米国ハイイールド債券市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

分配金

(2025年3月25日～2026年3月23日)

当期の収益分配は、運用の効率性を勘案し見送ることいたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第4期	
	2025年3月25日～ 2026年3月23日	
当期分配金	-	
(対基準価額比率)	-%	
当期の収益	-	
当期の収益以外	-	
翌期繰越分配対象額	5,494	

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<当ファンド>

引き続き、マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF(上場投資信託証券)に投資し、米国ハイイールド債券市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行う方針です。

<(ラップ専用) SBI・米国ハイイールド債券マザーファンド>

引き続き、「iシェアーズ iBoxx 米ドル建てハイイールド社債ETF」を主要投資対象とし、米国ハイイールド債券市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行います。

お知らせ

投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。
(変更適用日：2025年4月1日)

＜当該約款変更につきまして＞

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更され、書面交付またはデジタル交付いずれかを選択できるようになりました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全等、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。

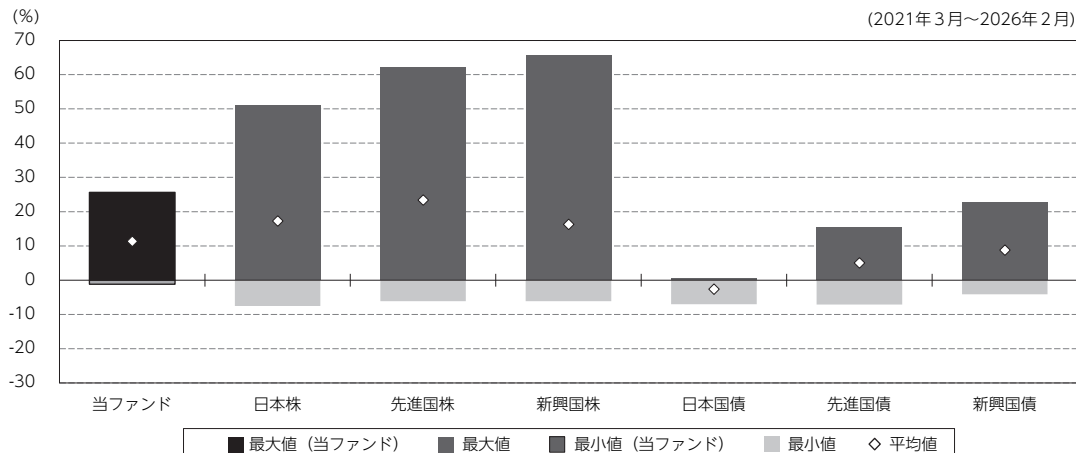
今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供ができるよう整備してまいります。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（設定日：2022年3月23日）	
運用方針	（ラップ専用）SBI・米国ハイイールド債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資することにより、米国ハイイールド債券市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド（ベビーファンド）	（ラップ専用）SBI・米国ハイイールド債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	ETF（上場投資信託証券）を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド（ベビーファンド）	（ラップ専用）SBI・米国ハイイールド債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資することにより、米国ハイイールド債券市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行います。
	マザーファンド	ETF（上場投資信託証券）への投資を通じて、米国ハイイールド債券市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行います。
分配方針	年1回（毎年3月22日。ただし、休業日の場合は翌営業日）決算を行い、原則として以下の方針に基づいて収益の分配を行います。分配対象額の範囲は、繰越分も含めた経費控除後の配当等収益（マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額（以下「みなし配当等収益」といいます。）を含みます。）および売買益（評価益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額とします。）等の全額とします。収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、委託者の判断により分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を定めず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	25.7	51.0	62.1	65.6	0.6	15.3	22.7
最小値	△ 1.1	△ 7.5	△ 6.1	△ 6.1	△ 7.0	△ 7.1	△ 4.1
平均値	11.3	17.3	23.4	16.3	△ 2.6	5.0	8.8

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2021年3月から2026年2月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、2023年3月から2026年2月のデータを基に算出しています。したがって、代表的な資産クラスとの比較対象期間が異なります。

(注4) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

《代表的な各資産クラスの指数》

日本株…Morningstar 日本株式指数

先進国株…Morningstar 先進国株式指数 (除く日本)

新興国株…Morningstar 新興国株式指数

日本国債…Morningstar 日本国債指数

先進国債…Morningstar グローバル国債指数 (除く日本)

新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債指数

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て税引前利子・配当込み指数です。

*各指数についての説明は、P13の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2026年3月23日現在)

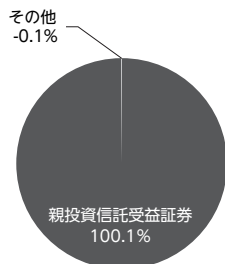
○組入上位ファンド

銘柄名	第4期末
(ラップ専用) SBI・米国ハイイールド債券マザーファンド	100.1%
組入銘柄数	1銘柄

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

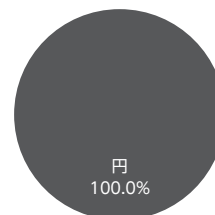
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

(注3) 国別配分の比率はマザーファンドの評価額に対する割合です。

純資産等

項目	第4期末
	2026年3月23日
純資産総額	34,071,314,547円
受益権総口数	21,989,424,806口
1万口当たり基準価額	15,494円

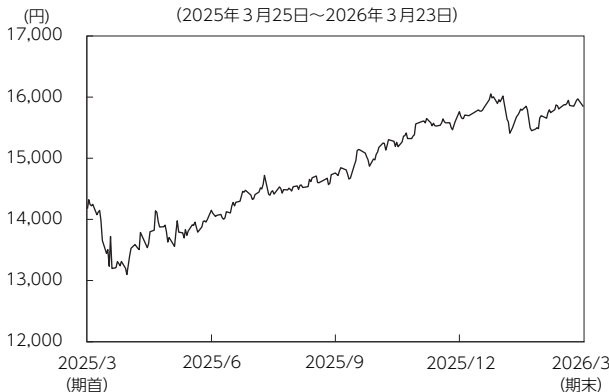
(注) 期中における追加設定元本額は23,501,316,620円、同解約元本額は7,452,327,044円です。

組入上位ファンドの概要

(ラップ専用) SBI・米国ハイイールド債券マザーファンド

【基準価額の推移】

(2025年3月25日～2026年3月23日)



【1万円当たりの費用明細】

(2025年3月25日～2026年3月23日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用)	2円 (2)	0.012% (0.012)
合計	2	0.012
平均基準価額は、14,774円です。		

(注) 上記項目の概要につきましては、P3をご参照ください。

【組入上位ファンド】

(2026年3月23日現在)

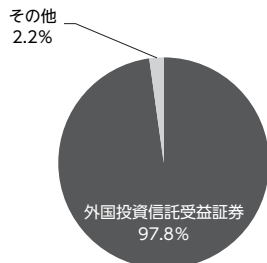
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	iShares iBoxx \$ High Yield Corporate Bond ETF	投資信託受益証券	米ドル	米国	97.8%
組入銘柄数				1銘柄	

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

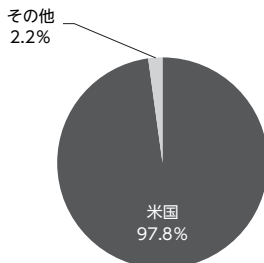
(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。

(注3) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

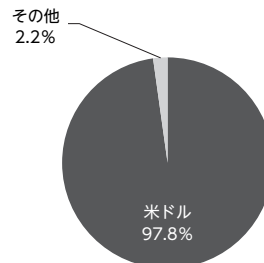
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 資産別・国別・通貨別のデータは2026年3月23日現在のものです。

(注2) 資産別・国別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分は発行国を表示しています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

<各指数の概要>

- 日本株：Morningstar 日本株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。
- 先進国株：Morningstar 先進国株式指数 (除く日本) は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。
- 新興国株：Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。
- 日本国債：Morningstar 日本国債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。
- 先進国債：Morningstar グローバル国債指数 (除く日本) は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。
- 新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

<重要事項>

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はモーニングスター・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社 (これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います) が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に本ファンドに投資することの当否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス (以下「Morningstarインデックス」と言います) の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与しておりません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害 (逸失利益を含む) について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「SBIラップ・シリーズ（ラップ専用）SBI・新興国債券」は、2026年3月23日に第4期決算を行いました。

当ファンドは（ラップ専用）SBI・新興国債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資することにより、新興国債券市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

第4期末（2026年3月23日）

基準価額	15,048円
純資産総額	23,469百万円
第4期	
騰落率	13.7%
分配金（税込み）合計	0円

(注1) 騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

(注3) 当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しています。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択⇒「目論見書・定期レポート等」を選択⇒「運用報告書（全体版）」より該当の決算期を選択ください。

SBIラップ・シリーズ （ラップ専用） SBI・新興国債券

追加型投信／海外／債券

交付運用報告書

第4期（決算日：2026年3月23日）

作成対象期間（2025年3月25日～2026年3月23日）

 SBI Asset Management

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

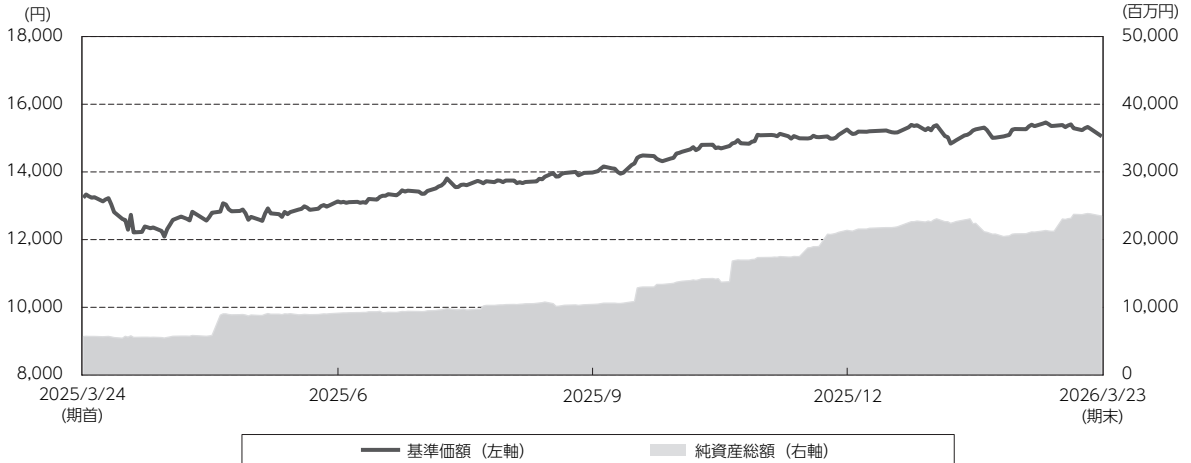
ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<https://www.sbiasset.com/jp/>

運用経過

基準価額等の推移

(2025年3月25日～2026年3月23日)



期首：13,239円

期末：15,048円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：13.7%

(注1) 当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資し、新興国債券市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

(注2) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

- ・米消費者物価指数（CPI）の伸び鈍化などによる米国金融政策の緩和への期待
- ・世界的なリスク選好の回復と新興国への資金流入による信用スプレッド（米回国債利回りと新興国国債利回りの差）の縮小
- ・為替市場のドル高

下落要因

- ・米国のインフレ高止まりによる米連邦準備制度理事会（FRB）の利下げペース鈍化
- ・先行き景気懸念等による世界的なリスク回避、信用スプレッドの拡大
- ・為替市場の円高

1万口当たりの費用明細

（2025年3月25日～2026年3月23日）

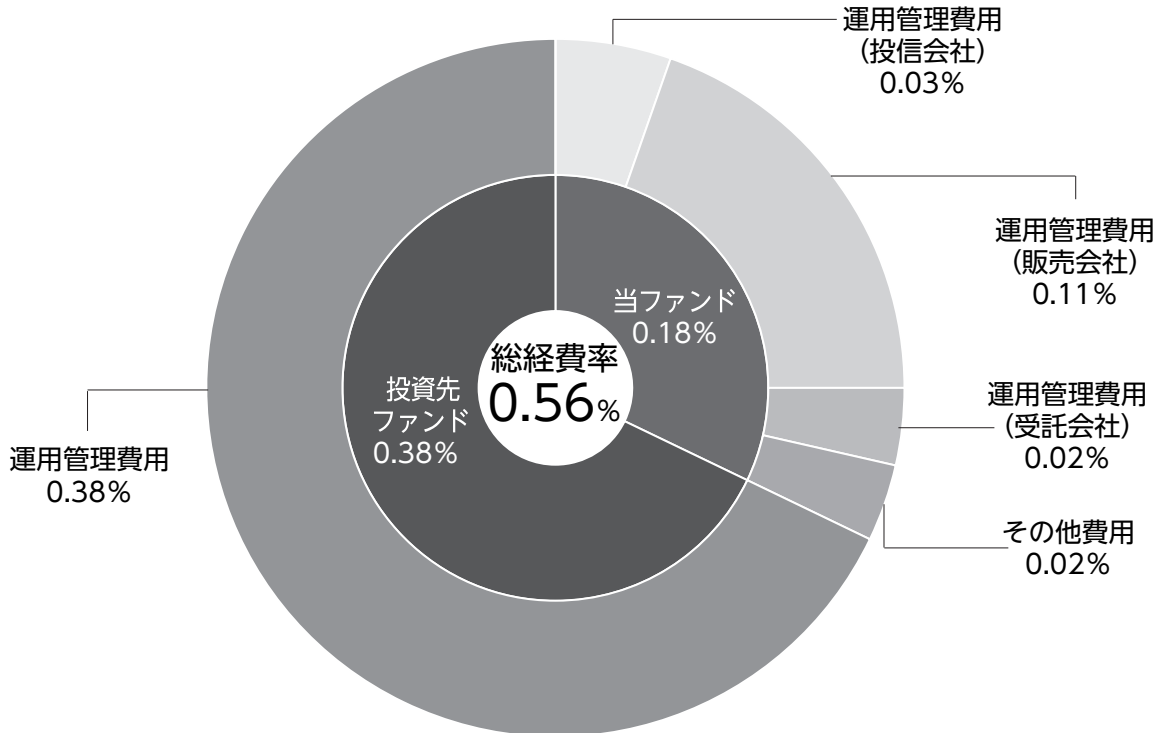
項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	22 円	0.160 %	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	（ 5 ）	（0.033）	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	（ 15 ）	（0.110）	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	（ 2 ）	（0.018）	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	－	－	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	－	－	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	3	0.023	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	（ 2 ）	（0.014）	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	（ 1 ）	（0.005）	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 ）	（ 0 ）	（0.003）	開示資料等の作成・印刷費用等
合 計	25	0.183	
期中の平均基準価額は、14,041円です。			

- (注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。
(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入しています。
(注4) 売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.56%です。



総経費率 (①+②)	0.56%
①当ファンドの費用の比率	0.18%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.38%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

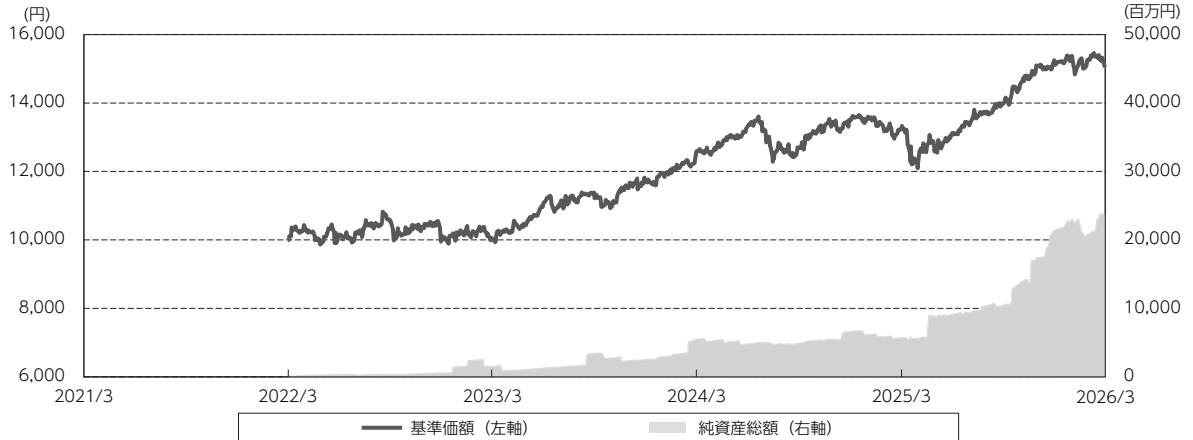
(注6) ①と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドについては、運用会社等より入手した概算値を使用している場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2021年3月23日～2026年3月23日)



- (注1) 当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資し、新興国債券市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。
- (注2) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、実在するデータ（2022年3月23日から2026年3月23日）のみの記載となっています。
- (注3) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

	2022年3月23日 設定日	2023年3月22日 決算日	2024年3月22日 決算日	2025年3月24日 決算日	2026年3月23日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,051	12,583	13,239	15,048
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0
基準価額騰落率 (%)	—	0.5	25.2	5.2	13.7
純資産総額 (百万円)	100	1,526	5,487	5,663	23,469

- (注1) 当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資し、新興国債券市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。
- (注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。
- (注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2023年3月22日の騰落率は設定当初との比較です。

投資環境

(2025年3月25日～2026年3月23日)

<新興国債券市場>

米ドル建て新興国債券市場のベースとなる米国の長期金利については、2025年4月から9月にかけて、米国トランプ大統領の関税施策によるインフレ懸念による金利上昇圧力や、軟調な経済指標による先行き景気悪化懸念による金利低下圧力の影響などを受け、4.25%から4.50%のレンジ内で推移しました。2025年9月以降2026年3月にかけては、インフレ懸念がやや後退し、相対的な利下げ期待が高まったことから、長期金利はレンジを切り下げて、概ね4.00%から4.25%のレンジ内で推移しました。なお、2026年2月下旬からは、米国がイランを攻撃したことに端を発する中東の地政学リスクの高まりから金利上昇圧力がかかり、米国の長期金利（10年国債）は2月末の4.00%近辺から3月末は4.31%程度まで上昇する結果となりました。当期初と当期末の比較では、米国の長期金利はほぼ横ばいでした。新興国債券については、通期においては金利の騰落は各国まちまちな結果となりましたが、2025年4月の米国トランプ関税ショック、および2026年3月の中東地政学リスクを受けたインフレ懸念の2つの事象の前後において、金利上昇圧力がかかる結果となりました。

<為替>

この期間のドル円相場は、円安基調を維持しつつ、段階的に円安が進行いたしました。水準としては、150円前半からほぼ一貫して円安が続き一時160円を突破いたしました。結果として160円に近い円安水準で終えております。この円安基調の背景は、日本銀行の慎重すぎる金利の正常化と米国における利下げ期待の後退により日米金利差が高止まっていることがあげられます。また、円の構造的な弱さも円安基調が続いている要因となっています。さらに2026年2月の終わりから始まった米国によるイラン攻撃により、原油高を招いておりインフレを懸念した動きから、米国の金利が上昇していることも円安が続いている原因と考えられます。

当ファンドのポートフォリオ

(2025年3月25日～2026年3月23日)

<当ファンド>

主要投資対象である (ラップ専用) SBI・新興国債券マザーファンド受益証券を高位に組み入れて運用を行いました。

<(ラップ専用) SBI・新興国債券マザーファンド>

主としてETF (上場投資信託証券) に投資し、新興国債券市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行ってまいりました。

また、ファンドの運用にあたっては、ブラックロック・ファンド・アドバイザーズが運用を行う「iシェアーズ J.P.モルガン・米ドル建てエマージング・マーケット債券ETF」を主要投資対象として運用を行いました。

なお、当期の投資信託証券の組入比率に関しては、95%以上の組入比率を維持しました。期末の組入比率は97.7%となっております。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2025年3月25日～2026年3月23日)

当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF (上場投資信託証券) に投資し、新興国債券市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

分配金

(2025年3月25日～2026年3月23日)

当期の収益分配は、運用の効率性を勘案し見送ることといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第4期	
	2025年3月25日～ 2026年3月23日	
当期分配金	—	
(対基準価額比率)	—%	
当期の収益	—	
当期の収益以外	—	
翌期繰越分配対象額	5,047	

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<当ファンド>

引き続き、マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF(上場投資信託証券)に投資し、新興国債券市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行う方針です。

<(ラップ専用) SBI・新興国債券マザーファンド>

引き続き、「iシェアーズ J.P.モルガン・米ドル建てエマージング・マーケット債券ETF」を主要投資対象とし、新興国債券市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行います。

お知らせ

投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。
 (変更適用日：2025年4月1日)

＜当該約款変更につきまして＞

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更され、書面交付またはデジタル交付いずれかを選択できるようになりました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全等、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。

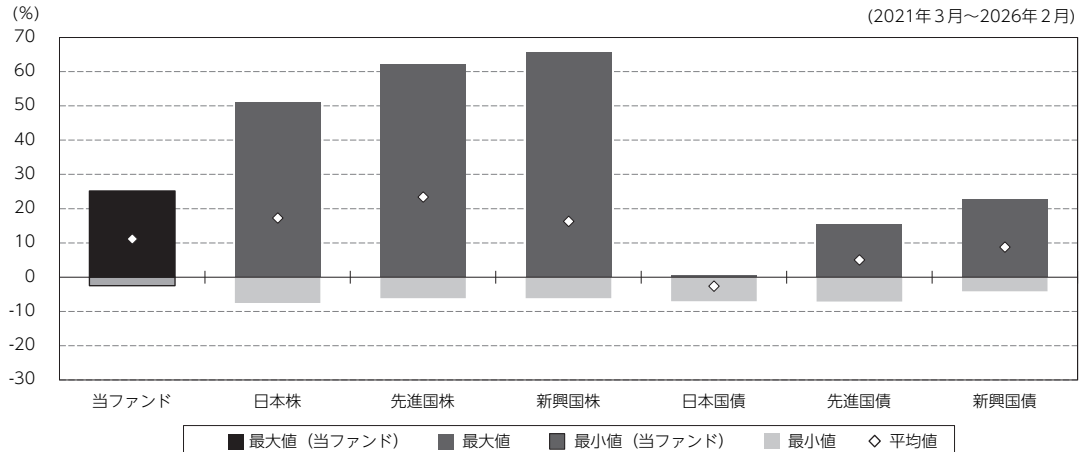
今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供ができるよう整備してまいります。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（設定日：2022年3月23日）	
運用方針	（ラップ専用）SBI・新興国債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資することにより、新興国債券市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド （ベビーファンド）	（ラップ専用）SBI・新興国債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	ETF（上場投資信託証券）を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド （ベビーファンド）	（ラップ専用）SBI・新興国債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資することにより、新興国債券市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行います。
	マザーファンド	ETF（上場投資信託証券）への投資を通じて、新興国債券市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行います。
分配方針	年1回（毎年3月22日。ただし、休業日の場合は翌営業日）決算を行い、原則として以下の方針に基づいて収益の分配を行います。分配対象額の範囲は、繰越分も含めた経費控除後の配当等収益（マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額（以下「みなし配当等収益」といいます。）を含みます。）および売買益（評価益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額とします。）等の全額とします。収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、委託者の判断により分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を定めず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	25.2	51.0	62.1	65.6	0.6	15.3	22.7
最小値	△ 2.5	△ 7.5	△ 6.1	△ 6.1	△ 7.0	△ 7.1	△ 4.1
平均値	11.2	17.3	23.4	16.3	△ 2.6	5.0	8.8

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2021年3月から2026年2月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、2023年3月から2026年2月のデータを基に算出しています。したがって、代表的な資産クラスとの比較対象期間が異なります。

(注4) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

《代表的な各資産クラスの指数》

日本株…Morningstar 日本株式指数

先進国株…Morningstar 先進国株式指数 (除く日本)

新興国株…Morningstar 新興国株式指数

日本国債…Morningstar 日本国債指数

先進国債…Morningstar グローバル国債指数 (除く日本)

新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債指数

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て税引前利子・配当込み指数です。

*各指数についての説明は、P13の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2026年3月23日現在)

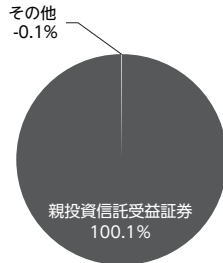
○組入上位ファンド

銘柄名	第4期末
(ラップ専用) SBI・新興国債券マザーファンド	100.1%
組入銘柄数	1銘柄

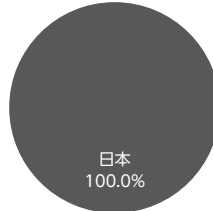
(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

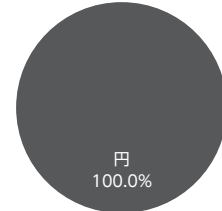
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

(注3) 国別配分の比率はマザーファンドの評価額に対する割合です。

純資産等

項目	第4期末
	2026年3月23日
純資産総額	23,469,161,468円
受益権総口数	15,596,531,238口
1万口当たり基準価額	15,048円

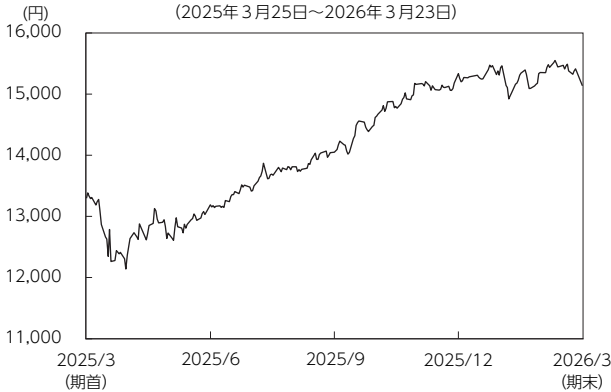
(注) 期中における追加設定元本額は17,474,499,657円、同解約元本額は6,155,954,828円です。

組入上位ファンドの概要

（ラップ専用）SBI・新興国債券マザーファンド

【基準価額の推移】

(2025年3月25日～2026年3月23日)



【1万円当たりの費用明細】

(2025年3月25日～2026年3月23日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用)	2円 (2)	0.014% (0.014)
合計	2	0.014
平均基準価額は、14,112円です。		

(注) 上記項目の概要につきましては、P3をご参照ください。

【組入上位ファンド】

(2026年3月23日現在)

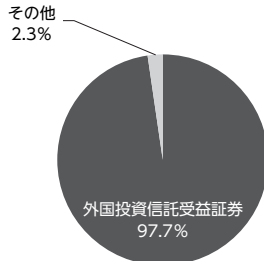
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率 %
1	iShares J.P. Morgan USD Emerging Markets Bond ETF	投資信託受益証券	米ドル	米国	97.7
組入銘柄数				1銘柄	

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

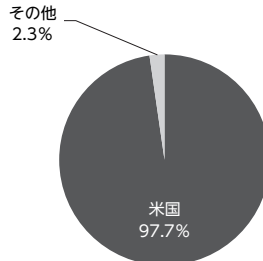
(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しています。

(注3) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

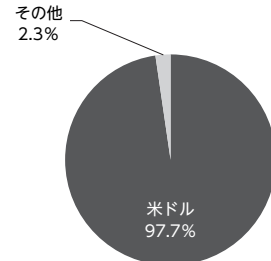
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 資産別・国別・通貨別のデータは2026年3月23日現在のものです。

(注2) 資産別・国別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分は発行国を表示しています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

<各指数の概要>

- 日本株：Morningstar 日本株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。
- 先進国株：Morningstar 先進国株式指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。
- 新興国株：Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。
- 日本国債：Morningstar 日本国債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。
- 先進国債：Morningstar グローバル国債指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。
- 新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

<重要事項>

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はモーニングスター・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に本ファンドに投資することの当否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstarインデックス」と言います）の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成又は算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与していません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「SBIラップ・シリーズ（ラップ専用）SBI・米国不動産」は、2026年3月23日に第4期決算を行いました。

当ファンドは（ラップ専用）SBI・米国不動産マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資することにより、米国不動産市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

第4期末（2026年3月23日）

基準価額	12,570円
純資産総額	8,571百万円
第4期	
騰落率	8.1%
分配金（税込み）合計	0円

（注1）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

（注2）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

（注3）当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しています。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択⇒「目論見書・定期レポート等」を選択⇒「運用報告書（全体版）」より該当の決算期を選択ください。

SBIラップ・シリーズ （ラップ専用） SBI・米国不動産

追加型投信／海外／不動産投信

交付運用報告書

第4期（決算日：2026年3月23日）

作成対象期間（2025年3月25日～2026年3月23日）

 SBI Asset Management

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

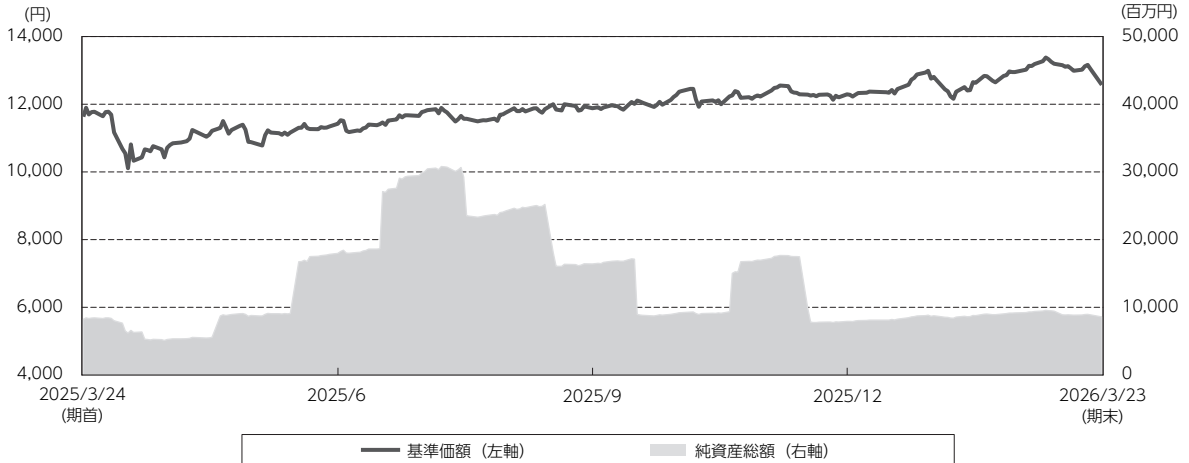
ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<https://www.sbiasset.com/jp/>

運用経過

基準価額等の推移

(2025年3月25日～2026年3月23日)



(注1) 当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資し、米国不動産市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

(注2) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

- ・米政権による減税や規制緩和への期待
- ・米連邦準備制度理事会（FRB）の利下げ観測
- ・対円での米ドルの上昇

下落要因

- ・米関税による国内景気への悪影響
- ・商業用不動産市場の先行き不透明感
- ・原油高に伴う米金利上昇懸念

1万口当たりの費用明細

（2025年3月25日～2026年3月23日）

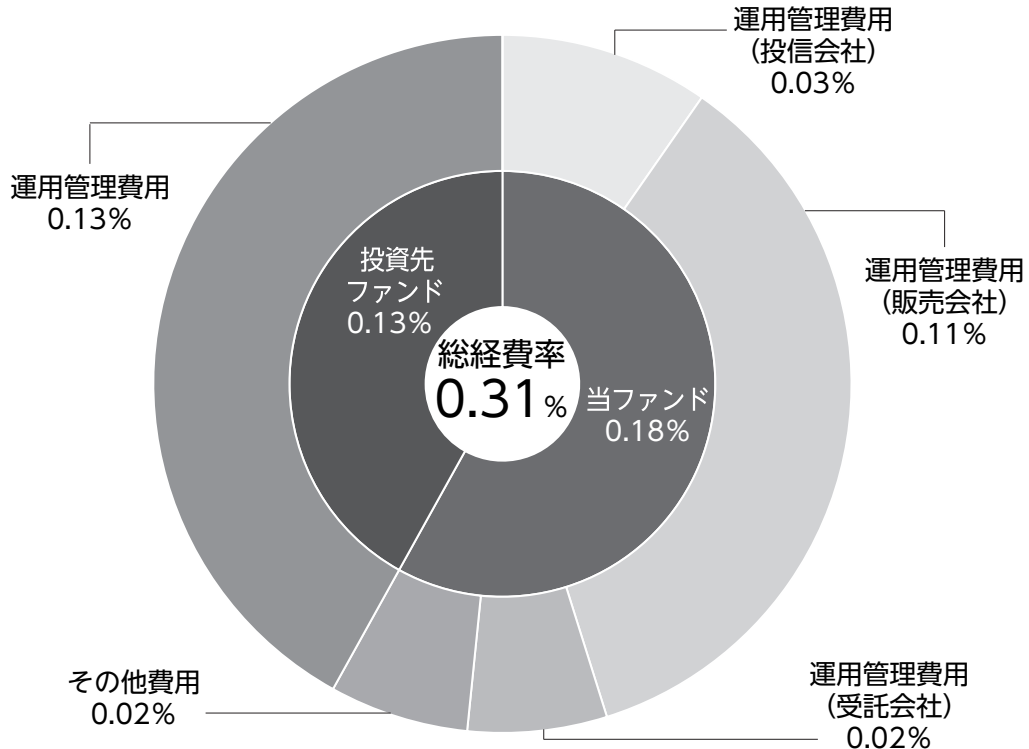
項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	19 円	0.160 %	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	（ 4 ）	（0.033）	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	（ 13 ）	（0.110）	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	（ 2 ）	（0.018）	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	－	－	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	－	－	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	3	0.022	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	（ 2 ）	（0.014）	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	（ 1 ）	（0.005）	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 ）	（ 0 ）	（0.003）	開示資料等の作成・印刷費用等
合 計	22	0.182	
期中の平均基準価額は、11,918円です。			

- (注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。
(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入しています。
(注4) 売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.31%です。



総経費率 (①+②)	0.31%
①当ファンドの費用の比率	0.18%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.13%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

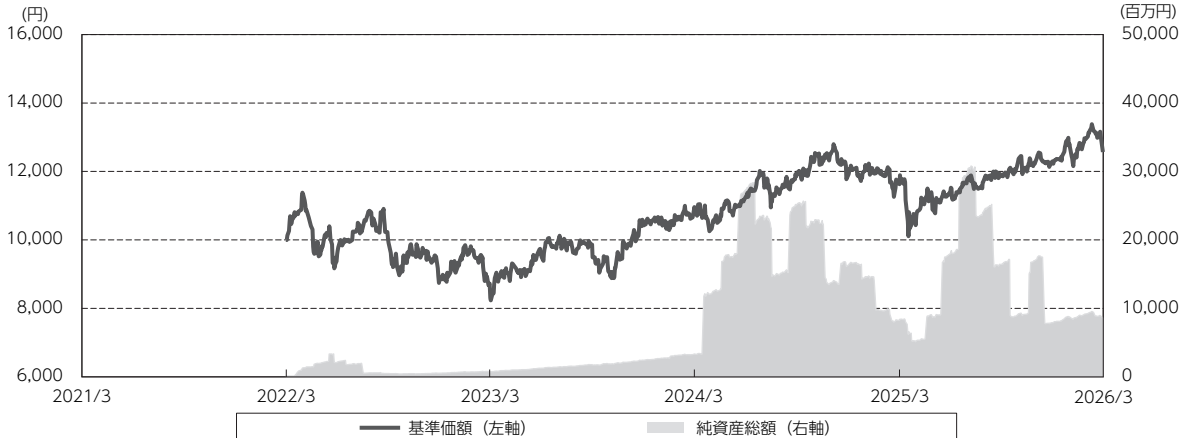
(注6) ①と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドについては、運用会社等より入手した概算値を使用している場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

（2021年3月23日～2026年3月23日）



- (注1) 当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資し、米国不動産市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。
- (注2) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、実在するデータ（2022年3月23日から2026年3月23日）のみの記載となっています。
- (注3) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

	2022年3月23日 設定日	2023年3月22日 決算日	2024年3月22日 決算日	2025年3月24日 決算日	2026年3月23日 決算日
基準価額 (円)	10,000	8,725	10,960	11,628	12,570
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0
基準価額騰落率 (%)	—	△12.8	25.6	6.1	8.1
純資産総額 (百万円)	100	762	3,327	8,228	8,571

- (注1) 当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資し、米国不動産市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。
- (注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。
- (注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2023年3月22日の騰落率は設定当初との比較です。

投資環境

（2025年3月25日～2026年3月23日）

<米国REIT市場>

当期の米国REIT市場は、景気悪化懸念が重石となる地合いから始まりました。2025年4月は米政権の相互関税発表で大幅下落したものの、一部適用猶予から下げ幅を縮小しました。5月は米中協議の進展期待で上昇、6月は堅調な雇用統計を受けて上昇したものの、データセンターREITの低調な見通しやニューヨークの賃料抑制懸念からオフィスREITが売られ下落に転じました。7月は米連邦準備制度理事会（FRB）が政策金利を据え置き、さらに利下げに慎重な姿勢を示したことから下落しましたが、8月はパウエルFRB議長のタカ派姿勢後退から大きく上昇しました。9月はハイテク株安につれデータセンターREITが下落、また軟調な雇用統計を受けて住宅REITが下落しましたが、その後ヘルスケアREITが相場を主導するなどセクター独自の動きが目立ちました。10月には政府機関閉鎖や米中対立、利下げ観測の後退から下落しましたが、11月には政府機関の再開期待やニューヨーク連銀総裁による強い利下げ期待もあり再び上昇に転じました。12月は利下げ前の金利上昇やAI関連株の下落に連動して下落したものの、2026年1月には失業率低下や景気回復期待から上昇基調を回復しました。2月には内需回復への期待と長期金利の低下が追い風となり、プライベートクレジットへの懸念を抱えながらも、極めて力強い上昇を見せました。3月には米国によるイランへの軍事行動を受けてリスク回避の動きが強まり、REIT価格は大幅に下落しました。

<為替>

当期、為替市場でドルは対円で上昇しました。期初に米国の高金利環境が当面維持されるとの見方を背景に、ドル高・円安水準で推移して始まりました。FRBが慎重な金融政策運営を続ける中、日米金利差は依然として大きく、ドルの優位性が意識されました。一方、日本銀行は金融政策正常化を進め、2025年12月に追加利上げを実施しましたが、利上げ幅は限定的であり、市場では緩和的な金融環境が当面続くとの見方が強く、円高圧力は抑制されました。2026年に入ると米国の将来的な利下げ観測が意識されましたが、米金利は高止まりし、ドル円は大きく崩れることなく推移しました。3月にはイラン戦争の激化による地政学リスクが高まりましたが、ドルの相対的な安全資産性が評価され、期末にかけてもドル高水準を維持しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2025年3月25日～2026年3月23日)

<当ファンド>

主要投資対象である (ラップ専用) SBI・米国不動産マザーファンド受益証券を高位に組み入れて運用を行いました。

<(ラップ専用) SBI・米国不動産マザーファンド>

主としてETF (上場投資信託証券) に投資し、米国不動産市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行ってまいりました。

また、ファンドの運用にあたっては、ザ・バンガード・グループ・インクが運用を行う「バンガード・リアル・エステートETF」を主要投資対象として運用を行いました。

なお、当期の投資信託証券の組入比率に関しては、95%以上の組入比率を維持しました。期末の組入比率は97.9%となっております。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2025年3月25日～2026年3月23日)

当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF (上場投資信託証券) に投資し、米国不動産市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

分配金

（2025年3月25日～2026年3月23日）

当期の収益分配は、運用の効率性を勘案し見送ることといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第4期
	2025年3月25日～ 2026年3月23日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,699

（注1）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注2）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針**<当ファンド>**

引き続き、マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資し、米国不動産市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行う方針です。

<（ラップ専用）SBI・米国不動産マザーファンド>

引き続き、「バンガード・リアル・エースタートETF」を主要投資対象とし、米国不動産市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行います。

お知らせ

投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。
 (変更適用日：2025年4月1日)

＜当該約款変更につきまして＞

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更され、書面交付またはデジタル交付いずれかを選択できるようになりました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全等、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。

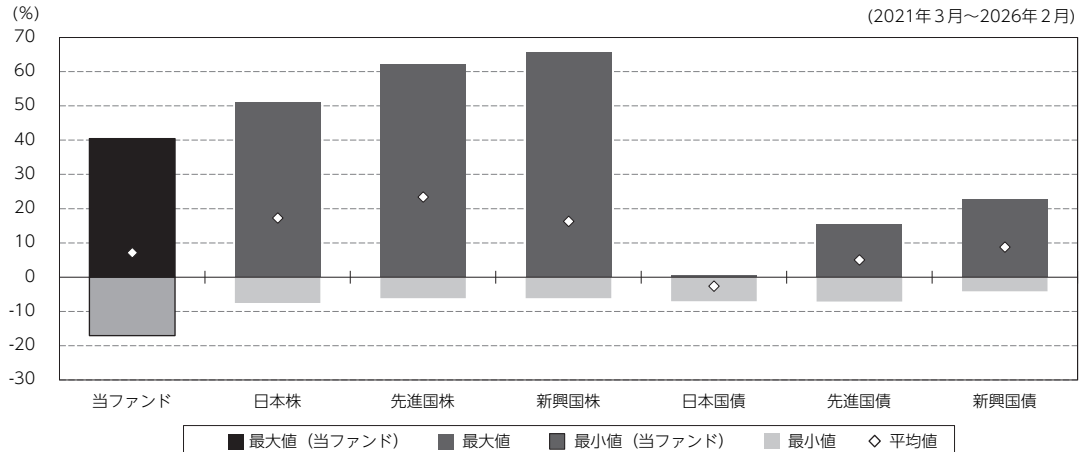
今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供ができるよう整備してまいります。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／不動産投信	
信託期間	無期限（設定日：2022年3月23日）	
運用方針	（ラップ専用）SBI・米国不動産マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資することにより、米国不動産市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド （ベビーファンド）	（ラップ専用）SBI・米国不動産マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	ETF（上場投資信託証券）を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド （ベビーファンド）	（ラップ専用）SBI・米国不動産マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資することにより、米国不動産市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行います。
	マザーファンド	ETF（上場投資信託証券）への投資を通じて、米国不動産市場の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行います。
分配方針	年1回（毎年3月22日。ただし、休業日の場合は翌営業日）決算を行い、原則として以下の方針に基づいて収益の分配を行います。分配対象額の範囲は、繰越分も含めた経費控除後の配当等収益（マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額（以下「みなし配当等収益」といいます。）を含みます。）および売買益（評価益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額とします。）等の全額とします。収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、委託者の判断により分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を定めず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	40.5	51.0	62.1	65.6	0.6	15.3	22.7
最小値	△ 17.0	△ 7.5	△ 6.1	△ 6.1	△ 7.0	△ 7.1	△ 4.1
平均値	7.1	17.3	23.4	16.3	△ 2.6	5.0	8.8

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2021年3月から2026年2月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、2023年3月から2026年2月のデータを基に算出しています。したがって、代表的な資産クラスとの比較対象期間が異なります。

(注4) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

《代表的な各資産クラスの指数》

日本株…Morningstar 日本株式指数

先進国株…Morningstar 先進国株式指数 (除く日本)

新興国株…Morningstar 新興国株式指数

日本国債…Morningstar 日本国債指数

先進国債…Morningstar グローバル国債指数 (除く日本)

新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債指数

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て税引前利子・配当込み指数です。

*各指数についての説明は、P13の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2026年3月23日現在)

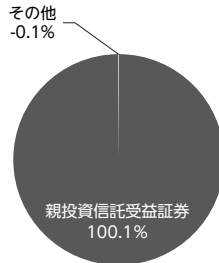
○組入上位ファンド

銘柄名	第4期末
(ラップ専用) SBI・米国不動産マザーファンド	100.1%
組入銘柄数	1銘柄

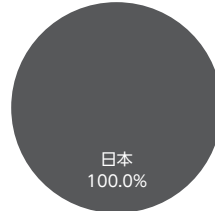
(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

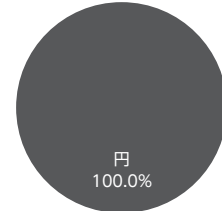
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

(注3) 国別配分の比率はマザーファンドの評価額に対する割合です。

純資産等

項目	第4期末
	2026年3月23日
純資産総額	8,571,607,017円
受益権総口数	6,819,051,400口
1万口当たり基準価額	12,570円

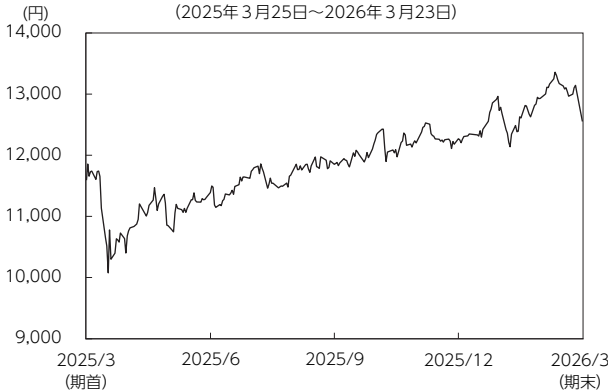
(注) 期中における追加設定元本額は33,780,418,896円、同解約元本額は34,037,754,704円です。

組入上位ファンドの概要

（ラップ専用）SBI・米国不動産マザーファンド

【基準価額の推移】

(2025年3月25日～2026年3月23日)



【1万円当たりの費用明細】

(2025年3月25日～2026年3月23日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用)	2円 (2)	0.014% (0.014)
合計	2	0.014
平均基準価額は、11,892円です。		

(注) 上記項目の概要につきましては、P3をご参照ください。

【組入上位ファンド】

(2026年3月23日現在)

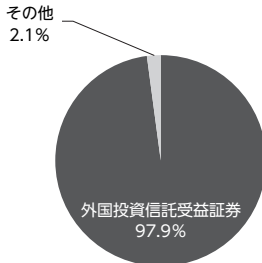
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率 %
1	Vanguard Real Estate ETF	投資信託受益証券	米ドル	米国	97.9
組入銘柄数				1銘柄	

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

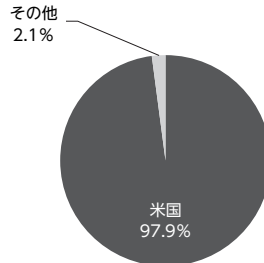
(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しています。

(注3) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

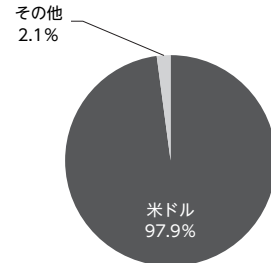
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 資産別・国別・通貨別のデータは2026年3月23日現在のものです。

(注2) 資産別・国別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分は発行国を表示しています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

<各指数の概要>

- 日本株：Morningstar 日本株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。
- 先進国株：Morningstar 先進国株式指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。
- 新興国株：Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。
- 日本国債：Morningstar 日本国債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。
- 先進国債：Morningstar グローバル国債指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。
- 新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

<重要事項>

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はモーニングスター・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に本ファンドに投資することの当否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstarインデックス」と言います）の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成又は算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与していません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「SBIラップ・シリーズ（ラップ専用）SBI・ゴールド」は、2026年3月23日に第4期決算を行いました。

当ファンドは（ラップ専用）SBI・ゴールドマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資することにより、金地金（ぎんじかね）価格の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

第4期末（2026年3月23日）

基準価額	29,027円
純資産総額	7,251百万円
第4期	
騰落率	56.4%
分配金（税込み）合計	0円

（注1）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

（注2）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

（注3）当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しています。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択⇒「目論見書・定期レポート等」を選択⇒「運用報告書（全体版）」より該当の決算期を選択ください。

SBIラップ・シリーズ （ラップ専用） SBI・ゴールド

追加型投信／内外／その他資産（商品）

交付運用報告書

第4期（決算日：2026年3月23日）

作成対象期間（2025年3月25日～2026年3月23日）

 SBI Asset Management

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

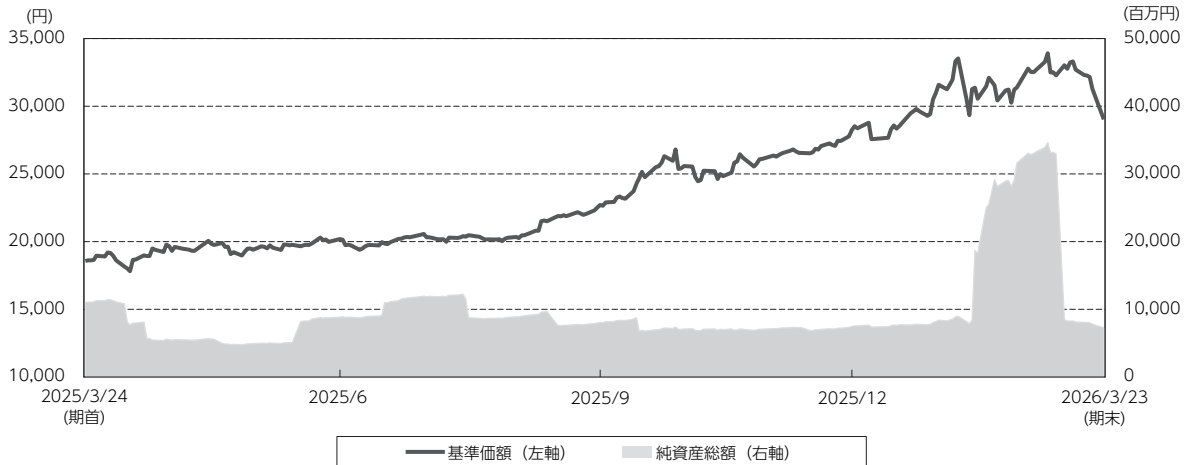
ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<https://www.sbiasset.com/jp/>

運用経過

基準価額等の推移

(2025年3月25日～2026年3月23日)



期首：18,562円

期末：29,027円 (既払分配金 (税込み) : 0円)

騰落率： 56.4%

(注1) 当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF (上場投資信託証券) に投資し、金地金 (きんじかね) 価格の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

(注2) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

- ・地政学リスクを意識した買い
- ・インフレヘッジの買い
- ・米利上げペース鈍化への期待 (米金利低下によるドル安を反映した金買い)
- ・対円での米ドルの上昇

下落要因

- ・米連邦準備制度理事会 (FRB) の政策金利引上げと米金利上昇によるドル高
- ・インフレ高止まり、米景気堅調による米金利高止まりへの懸念

1万口当たりの費用明細

(2025年3月25日～2026年3月23日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	38 円	0.160 %	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(8)	(0.033)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(26)	(0.110)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(4)	(0.018)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	—	—	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	—	—	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	6	0.026	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(4)	(0.015)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(2)	(0.007)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷)	(1)	(0.004)	開示資料等の作成・印刷費用等
合 計	44	0.186	
期中の平均基準価額は、23,879円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入しています。

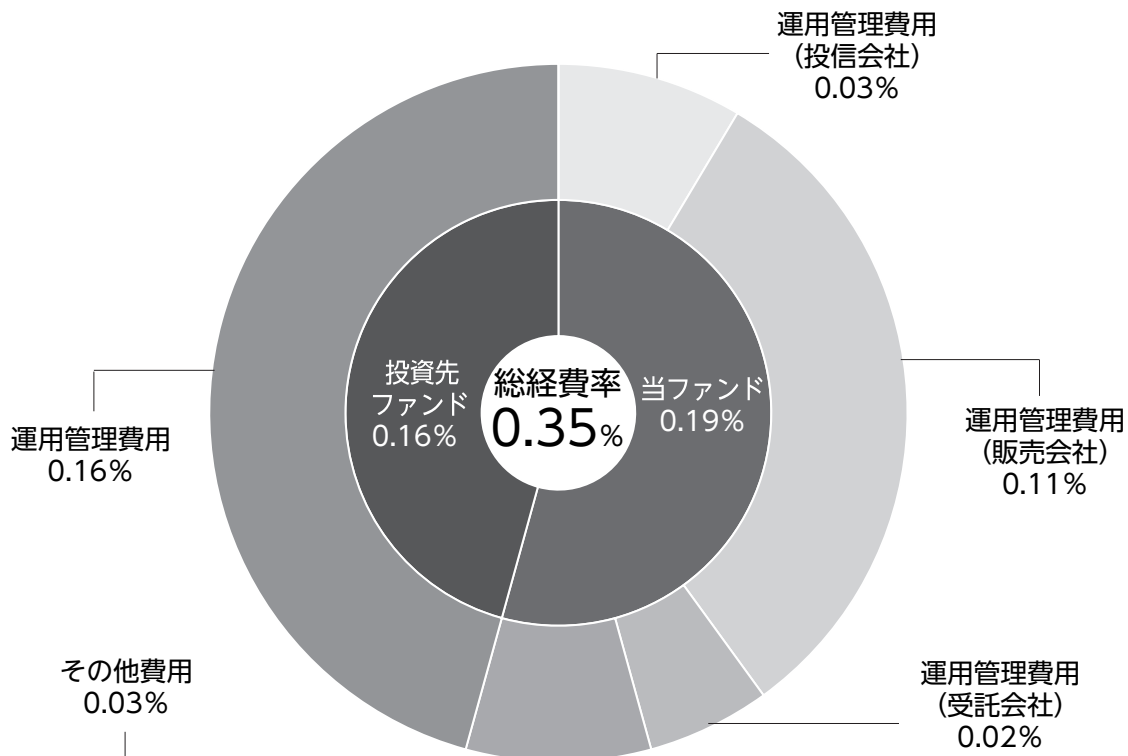
(注4) 売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.35%です。



総経費率 (①+②)	0.35%
①当ファンドの費用の比率	0.19%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.16%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

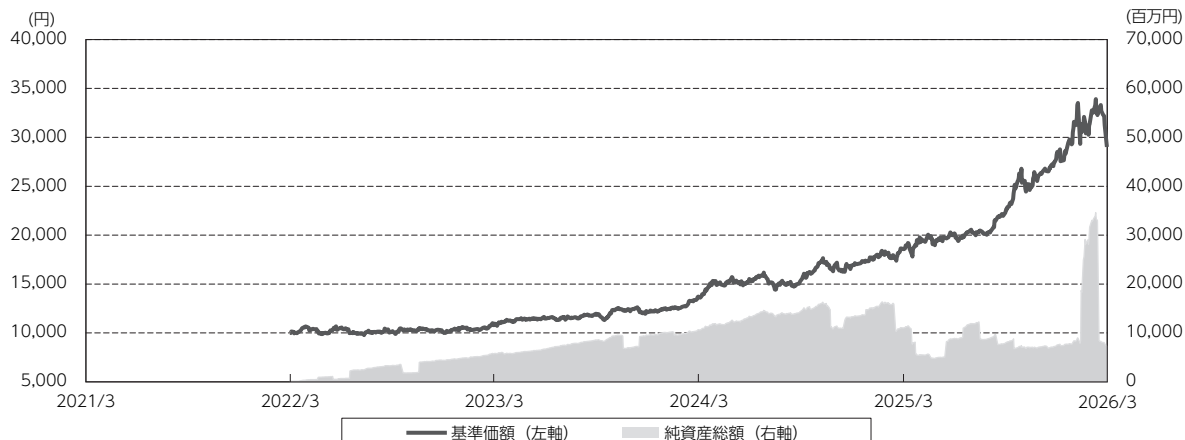
(注6) ①と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドについては、運用会社等より入手した概算値を使用している場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2021年3月23日～2026年3月23日)



- (注1) 当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF (上場投資信託証券) に投資し、金地金 (きんじかね) 価格の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。
- (注2) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、実在するデータ (2022年3月23日から2026年3月23日) のみの記載となっています。
- (注3) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

	2022年3月23日 設定日	2023年3月22日 決算日	2024年3月22日 決算日	2025年3月24日 決算日	2026年3月23日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,788	13,725	18,562	29,027
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0
基準価額騰落率 (%)	—	7.9	27.2	35.2	56.4
純資産総額 (百万円)	100	5,697	10,646	11,005	7,251

- (注1) 当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF (上場投資信託証券) に投資し、金地金 (きんじかね) 価格の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。
- (注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。
- (注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2023年3月22日の騰落率は設定当初との比較です。

投資環境

(2025年3月25日～2026年3月23日)

<金現物市場>

当期の金相場は概ね堅調に推移しました。期初からは2025年3月、4月にかけて米政権の相互関税発表を受けての景気悪化懸念の強まりで株式市場が下落したことや、トランプ大統領がパウエルFRB議長解任を示唆したこと等で、先行き不透明感が強まり堅調に推移しました。その後、FRBによる利下げ観測の一進一退が続いたことで横ばいに推移しました。9月には、米国に対する信認の低下から新興国の中央銀行等でドルから金に外貨準備を移す動きが強まったとの観測で急激に上昇しました。10月以降は米連邦公開市場委員会 (FOMC) で、FRBは9月会合に続き0.25%の利下げを決定し米金利の低下が続いたことで上昇が続き、金価格は10月に1オンス当たり4,000ドルを突破しました。その後も、米国の利下げ期待継続やドル安、地政学リスク等を背景に金価格は総じて堅調に推移しました。年明け以降1月は、トランプ大統領が米国のグリーンランド領有に反対する欧州に追加関税を課すことを表明したことを受け、リスク回避から一段と上昇し、5,000ドルを突破しましたが、月末にはドル建て資産である金の割高感が意識されたことや、これまでの値上がりを受けての利益確定を目的とした売り等から反落しました。2月から3月上旬にかけては、米国によるイランへの軍事攻撃直後に安全資産需要の高まりを受け変動率が高まる中、反転し一時5,000ドルを上回りましたが、期末にかけては、中東の戦闘長期化が意識される中で、原油価格の高止まりからの、インフレ加速が懸念され金利が上昇し下落しました。

<為替>

当期、為替市場でドルは対円で上昇しました。期初に米国の高金利環境が当面維持されるとの見方を背景に、ドル高・円安水準で推移して始まりました。FRBが慎重な金融政策運営を続ける中、日米金利差は依然として大きく、ドルの優位性が意識されました。一方、日本銀行は金融政策正常化を進め、2025年12月に追加利上げを実施しましたが、利上げ幅は限定的であり、市場では緩和的な金融環境が当面続くとの見方が強く、円高圧力は抑制されました。2026年に入ると米国の将来的な利下げ観測が意識されましたが、米金利は高止まりし、ドル円は大きく崩れることなく推移しました。3月にはイラン戦争の激化による地政学リスクが高まりましたが、ドルの相対的な安全資産性が評価され、期末にかけてもドル高水準を維持しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2025年3月25日～2026年3月23日)

<当ファンド>

主要投資対象である (ラップ専用) SBI・ゴールドマザーファンド受益証券を高位に組み入れて運用を行いました。

< (ラップ専用) SBI・ゴールドマザーファンド >

主としてETF (上場投資信託証券) に投資し、金地金 (きんじかね) 価格の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行ってまいりました。

また、ファンドの運用にあたっては、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズが運用を行う「SPDR®ゴールド・ミニシェアーズ・トラスト」を主要投資対象として運用を行いました。

なお、当期の投資信託証券の組入比率に関しては、95%以上の組入比率を維持しました。期末の組入比率は98.9%となっております。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2025年3月25日～2026年3月23日)

当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF (上場投資信託証券) に投資し、金地金 (きんじかね) 価格の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

分配金

(2025年3月25日～2026年3月23日)

当期の収益分配は、運用の効率性を勘案し見送ることといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第4期
	2025年3月25日～ 2026年3月23日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	19,026

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針**<当ファンド>**

引き続き、マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF(上場投資信託証券)に投資し、金地金(きんじかね) 価格の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行う方針です。

<(ラップ専用) SBI・ゴールドマザーファンド>

引き続き、「SPDR®ゴールド・ミニシェアーズ・トラスト」を主要投資対象とし、金地金(きんじかね) 価格の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行います。

お知らせ

投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。
(変更適用日：2025年4月1日)

＜当該約款変更につきまして＞

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更され、書面交付またはデジタル交付いずれかを選択できるようになりました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全等、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。

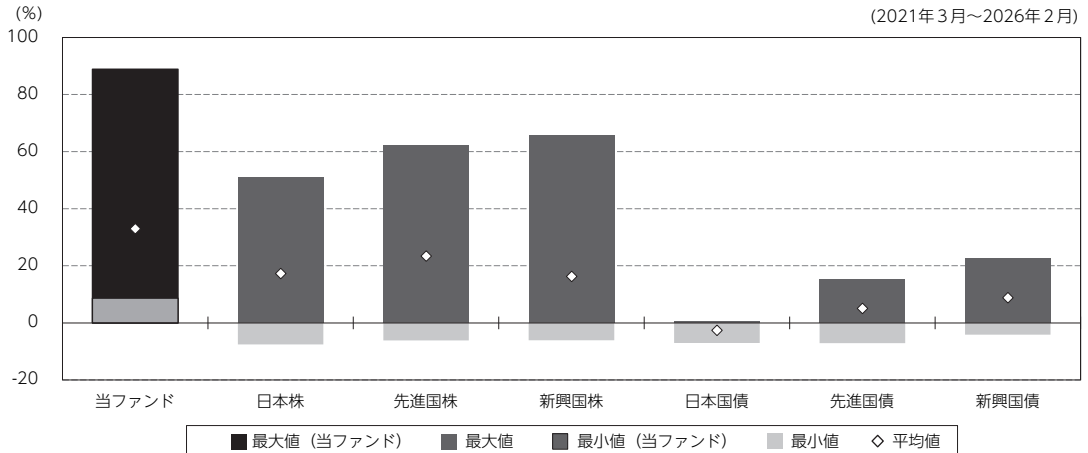
今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供ができるよう整備してまいります。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／その他資産 (商品)	
信託期間	無期限 (設定日：2022年3月23日)	
運用方針	(ラップ専用) SBI・ゴールドマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF (上場投資信託証券) に投資することにより、金地金 (きんじかね) 価格の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド (ベビーファンド)	(ラップ専用) SBI・ゴールドマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	ETF (上場投資信託証券) を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド (ベビーファンド)	(ラップ専用) SBI・ゴールドマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF (上場投資信託証券) に投資することにより、金地金 (きんじかね) 価格の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行います。
	マザーファンド	ETF (上場投資信託証券) への投資を通じて、金地金 (きんじかね) 価格の値動きと同等の投資成果をめざして運用を行います。
分配方針	年1回 (毎年3月22日。ただし、休業日の場合は翌営業日) 決算を行い、原則として以下の方針に基づいて収益の分配を行います。分配対象額の範囲は、繰越分も含めた経費控除後の配当等収益 (マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額 (以下「みなし配当等収益」といいます。)) を含みます。) および売買益 (評価益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額とします。) 等の全額とします。収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、委託者の判断により分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を定めず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	88.9	51.0	62.1	65.6	0.6	15.3	22.7
最小値	8.7	△ 7.5	△ 6.1	△ 6.1	△ 7.0	△ 7.1	△ 4.1
平均値	32.9	17.3	23.4	16.3	△ 2.6	5.0	8.8

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2021年3月から2026年2月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、2023年3月から2026年2月のデータを基に算出しています。したがって、代表的な資産クラスとの比較対象期間が異なります。

(注4) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

《代表的な各資産クラスの指数》

日本株…Morningstar 日本株式指数

先進国株…Morningstar 先進国株式指数 (除く日本)

新興国株…Morningstar 新興国株式指数

日本国債…Morningstar 日本国債指数

先進国債…Morningstar グローバル国債指数 (除く日本)

新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債指数

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て税引前利子・配当込み指数です。

*各指数についての説明は、P13の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2026年3月23日現在)

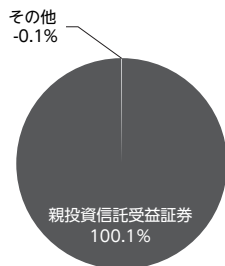
○組入上位ファンド

銘柄名	第4期末
(ラップ専用) SBI・ゴールドマザーファンド	100.1%
組入銘柄数	1銘柄

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

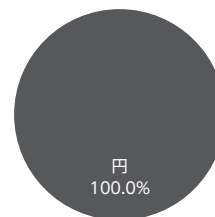
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

(注3) 国別配分の比率はマザーファンドの評価額に対する割合です。

純資産等

項目	第4期末
	2026年3月23日
純資産総額	7,251,891,940円
受益権総口数	2,498,330,115口
1万口当たり基準価額	29,027円

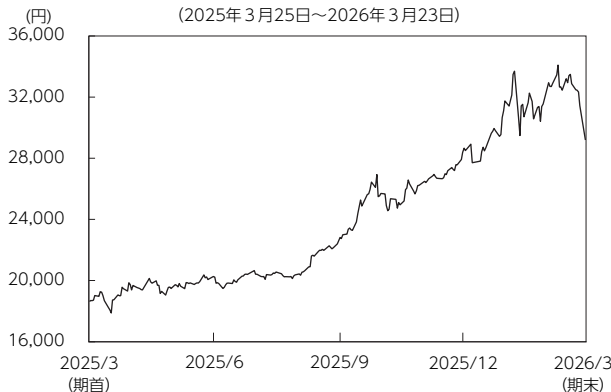
(注) 期中における追加設定元本額は12,778,971,156円、同解約元本額は16,209,990,768円です。

組入上位ファンドの概要

(ラップ専用) SBI・ゴールドマザーファンド

【基準価額の推移】

(2025年3月25日～2026年3月23日)



【1万円当たりの費用明細】

(2025年3月25日～2026年3月23日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用)	4円 (4)	0.015% (0.015)
合計	4	0.015
平均基準価額は、23,993円です。		

(注) 上記項目の概要につきましては、P3をご参照ください。

【組入上位ファンド】

(2026年3月23日現在)

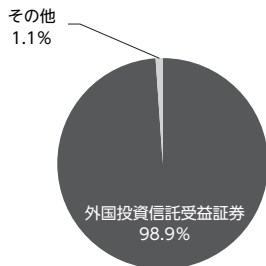
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	SPDR® GOLD MINISHARES TRUST	投資信託受益証券	米ドル	米国	98.9%
組入銘柄数				1銘柄	

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

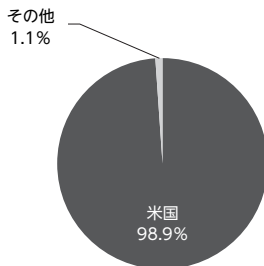
(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。

(注3) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

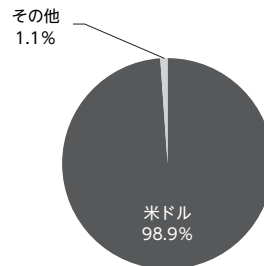
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 資産別・国別・通貨別のデータは2026年3月23日現在のものです。

(注2) 資産別・国別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分は発行国を表示しています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

<各指数の概要>

- 日本株：Morningstar 日本株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。
- 先進国株：Morningstar 先進国株式指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。
- 新興国株：Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。
- 日本国債：Morningstar 日本国債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。
- 先進国債：Morningstar グローバル国債指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。
- 新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

<重要事項>

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はモーニングスター・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に本ファンドに投資することの当否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstarインデックス」と言います）の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与しておりません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。